

平成18年版桑名保健福祉事務所年報(平成17年度実績)

三重県桑名保健福祉事務所
511-8567 桑名市中央町5丁目71番地
企画福祉課 0594-24-3621,3626
健康増進課 0594-24-3625
地域保健課 0594-24-3620
衛生指導課 0594-24-3623
ファックス 0594-24-3692
<http://www.pref.mie.jp/WHOKEN/HP/>

凡例

1. 各表中、頭注(右上欄)に調査年月日が記入されていないものには、平成17年度実績及び平成18年4月1日現在数を示し、数表の記号は次のような場合に使用しました。
 - 該当数字のない場合「-」
 - 調査項目のありえないもの及び調査しなかった場合「/」
2. 各ページについているページ番号は、先頭ページからの通し番号ではなく、各項目の「標題番号、略称、その項目中でのページ数」を表しています。
例示すると、「- 4.人口動態 2/5 -」は、「4.人口動態統計」の5ページある中の2ページ目を表します。
3. 平成17年度から、機構改革により、生活保護業務は四日市保健福祉事務所に、児童相談は北勢児童相談所に移管されています。

目次

第1章 組織

1. **桑名保健福祉事務所の沿革**
2. **桑名保健福祉事務所の機構と業務内容**
 1. 職員の状況
 2. 組織及び分掌事務

第2章 管内の概況

3. **市町の概況**
 1. 管内面積・世帯数・人口
 2. 管内略図
 3. 管内人口の推移・管内人口ピラミッド
4. **人口動態統計**
 1. 人口動態総覧（数）
 2. 人口動態総覧（率）
 3. 市町別・性別・出生体重区分別出生数
 4. 母の年齢別・出生順位別出生数（三重県の件数）
 5. 市町別・主要死因別死亡数
 6. 市町別・主要死因別死亡率
 7. 市町別・性別・悪性新生物部位別死亡数

第3章 保健・医療・福祉資源の状況

5. **医務**
 1. 市町別医療関係施設数
 2. 市町別病院病床数
 3. 管内医療従事者数
6. **栄養改善**
 1. 給食施設数及び指導状況
 2. 食生活改善推進員数及び地区組織活動支援の状況
 3. 管内行政栄養士配置数及び技術支援の状況
7. **食品衛生**
 1. 食品関係施設数及び監視状況
 2. 食品等の収去検査結果
 3. 食中毒発生状況
8. **生活衛生・薬事及び動物取扱業営業施設**
 1. 環境衛生関係営業施設数及び監視指導状況
 2. 薬事関係営業施設数及び監視指導状況
 3. 動物取扱業営業届施設数及び監視指導状況
9. **民生・児童委員等配置状況**
 1. 民生委員・児童委員数
 2. 身体障害者、知的障害者相談員数
10. **社会福祉施設**

1. 社会福祉施設等の整備状況（市町別）
2. 児童福祉施設の状況
 - (1) 保育所
 - (2) 児童福祉施設(保育所を除く)
3. 障害者福祉施設の状況
 - (1) 身体障害者福祉施設
 - (2) 知的障害者施設
 - ア 知的障害者更正施設
 - イ 知的障害者通所授産施設
 - ウ グループホーム
 - エ 生活ホーム
 - (3) 心身障害者小規模作業所
4. 高齢者福祉施設の状況
 - 指定居宅サービス事業者等指定状況
 - 在宅介護支援センター設置状況

11. 各種免許申請・取得状況

1. 医療・福祉従事者免許申請状況
2. 調理師免許取得状況
3. 製菓衛生師免許取得状況

12. 市町保健師設置状況

第4章 障害者保健福祉

13. 身体障害者福祉・知的障害者福祉

1. 身体障害者手帳所持者の障害別状況
2. 療育手帳所持者の状況

14. 精神保健福祉対策事業

1. 精神障害者地域生活支援事業
 - (1) 精神障害者保健福祉手帳交付事業
 - (2) 精神障害者保健福祉相談指導事業
2. 精神障害者社会復帰推進事業
 - (1) 精神障害者社会参加支援事業
 - (2) 精神障害者共同（小規模）作業所運営費補助事業
 - (3) 精神障害者社会復帰施設運営費補助金
 - (4) 精神障害者通院患者リハビリテーション事業
3. 精神保健医療対策事業
 - (1) 通院医療費公費負担事務
 - (2) 精神保健措置事業
 - (3) 疾患別措置入院者の状況

第5章 母子保健

15. 母子保健関連事業

1. 母子保健対策事業
 - (1) 未熟児訪問事業
 - (2) 健やか親子支援事業

2. 母子医療対策事業
 - (1) 育成医療
 - (2) 養育医療
 - (3) 小児慢性特定疾患治療研究事業
 - (4) 特定不妊治療費助成事業

第6章 疾病対策

16. 結核予防

1. 管内結核登録患者の状況
 - (1) 新登録患者数（活動性分類、性別、年齢階級別）
 - (2) 年末現在登録患者数（活動性分類、受療状況別）
 - (3) 市町別結核登録患者の状況
 - (4) 市町別結核新登録患者の状況
2. 結核検診実施状況
3. 市町別一般住民結核健康診断実施状況
4. 結核診査協議会における結核医療診査状況
 - (1) 結核予防法第34条申請診査件数
 - (2) 結核予防法第35条申請診査件数
5. 結核診査協議会委員名簿
6. 結核健康相談開催
7. 結核対策特別推進事業

17. 感染症予防

1. 感染症予防
 - (1) 二類・三類感染症発生状況
 - (2) 二類・三類感染症対策検査実施状況
2. エイズ予防事業
 - (1) エイズ対策促進事業
 - (2) 世界エイズデーキャンペーン
 - (3) エイズ採血検査、電話相談者数
 - (4) エイズ相談・採血
3. 予防接種
 - (1) 市町別予防接種実施状況

18. 難病対策関係事業

1. 難病在宅ケア事業
2. 特定疾患治療研究事業

19. 骨髄バンク事業

20. 原子爆弾被爆者援護

1. 被爆者医療

第7章 健康づくり(ヘルシーピープルみえ・21)・保健栄養

21. たばこ対策

1. 啓発活動
2. 未成年者の喫煙防止対策
3. 受動喫煙防止対策

4. 禁煙支援

22. **こころの健康づくり**

1. リスナー養成研修
2. リスナー継続研修会
3. リスナー指導者継続研修会
4. こころの健康づくり研修会
5. こころの健康づくり教育
6. 平成18年度の方針、実施計画

23. **「ヘルシーピープルそういん・21」地域・職域連携推進事業**

1. ヘルシーピープルそういん・21地域・職域連携推進協議会開催
2. 同協議会プロジェクトチーム会議開催
3. 地域・職域連携推進研修会開催

24. **保健栄養**

1. 栄養改善指導実施状況
2. 栄養士職域ネットワーク研究会
3. 食育推進事業

第8章 薬務

25. **薬物乱用防止対策の推進**

26. **献血推進**

1. 市町別献血状況

第9章 狂犬病予防

27. **狂犬病予防**

1. 畜犬捕獲等業務

第10章 高齢者福祉

28. **介護保険**

1. 介護支援専門員実務研修受講試験申込受付状況
2. 現任研修実施状況
3. 要支援・要介護認定状況
4. 介護保険審査会の開催状況

29. **高齢者福祉事業**

1. 老人クラブ活動等事業

第11章 母子及び寡婦福祉・女性相談

30. **母子及び寡婦福祉**

1. 母子及び寡婦福祉資金の貸付

31. **女性相談**

1. 平成17年度相談件数
2. 相談主訴別受付状況
3. 相談件数の推移

第12章 保健・医療・福祉関係者の養成

32. **実習生受け入れ状況**

第1章 組織

1. 桑名保健福祉事務所の沿革

明治30年(1897年) 伝染病予防法施行

昭和12年(1937年) 保健所法公布

昭和19年(1944年)10月 **三重県桑名保健所発足**(職員10人)

前身は桑名簡易保険健康相談所(桑名市上野18)

昭和22年(1947年)7月 戦災後桑名郵便局の一室を仮事務所として業務執行(職員16人)

昭和22年(1947年) **新保健所法**、食品衛生法、児童福祉法制定(施行は、3法とも昭和23年1月)

昭和23年(1948年) 児童福祉法、予防接種法、性病予防法施行

昭和23年(1948年)11月 課制(機構)執行(職員27名)

昭和24年(1949年)4月 新庁舎完成移転(桑名市常磐町、敷地215坪、建坪114坪)

昭和24年(1949年) 身体障害者福祉法制定

昭和25年(1950年) 精神衛生法、狂犬病予防法、生活保護法制定

昭和26年(1951年) 結核予防法、社会福祉事業法(平成12年6月「社会福祉法」に改称)制定

昭和27年(1952年) 栄養改善法制定

昭和27年(1952年)9月 係長制度施行される。

昭和31年(1956年) 8月 薬剤師法、薬事法制定

昭和35年(1960年) 精神薄弱者福祉法制定

昭和35年(1960年)8月 次長制度施行される。

昭和38年(1963年) 老人福祉法制定

昭和39年(1964年) 母子福祉法制定(昭和56年「母子及び寡婦福祉法」に改称)

昭和40年(1965年) 母子保健法制定

昭和45年(1970年) 心身障害者対策法制定

昭和48年(1973年)5月 **新庁舎完成移転**(桑名市中央町五丁目71番地)

昭和48年(1973年)9月 動物の保護及び管理に関する法律制定(施行は、昭和49年1月)

昭和51年(1976年)4月 機構改革により環境課新設、衛生課を衛生指導課に改称

昭和53年(1978年)4月 機構改革により総務課に検査係新設、普及係を医事統計係に改称

昭和54年(1979年)10月 薬事法改正

昭和61年(1986年)4月 機構改革により総務課医事統計係を廃止、総務係に吸収

昭和62年(1987年) 精神衛生法改正(「精神保健法」に改称)

平成元2年(1989年) 後天性免疫不全症候群の予防に関する法律施行

平成5年(1993年)4月 機構改革により総務課**検査係を廃止**、保健婦室を保健指導課に改称、保健予防課保健係、予防係を保健予防係に統一

平成5年(1993年)12月 心身障害者対策法改正(「障害者基本法」に改称)

平成6年(1994年)6月 **地域保健法制定(保健所機能の強化)**、**関係法律整備**(保健所法、母子保健法、児童福祉法、栄養改善法、医療法、薬事法、伝染病予防法、食品衛生法等)

平成7年(1995年)7月 精神保健法改正(精神障害者保健福祉手帳制度の創設、「精神保健及び精神障害者福祉に関する法律」に改称)

平成8年(1996年)4月 らい予防法廃止、6月 薬事法改正

平成9年(1997年)4月 地域保健法全面施行

平成9年(1997年)4月 機構改革により企画調整課新設、保健予防課、保健指導課を地域保健課に統一

平成9年(1997年)12月 介護保険法制定(平成12年4月施行)

平成10年(1998年)4月 機構改革により旧桑名保健所と旧北勢福祉事務所の一部を統合し、**児童相談機能を含めて「北勢県民局桑名保健福祉部」として発足(桑名保健所は併置機関として存続)。**

組織体制は、部長(福祉監兼)、保健監(保健所長兼)、副部長のもと、企画総務、健康増進、福祉保健、衛生指導のグループを設置。各グループにグループリーダーを置く。**環境課業務を移管する。**

平成11年(1999年)4月 「感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律」(感染症法)施行(伝染病予防法、性病予防法、後天性免疫不全症候群の予防に関する法律廃止)、

4月 精神薄弱者福祉法改正(「知的障害者福祉法」に改称)

平成11年(1999年)12月 動物の保護及び管理に関する法律改正(「動物の愛護及び管理に関する法律」に改称。施行は、平成12年12月)

平成13年(2001年)3月 地域健康危機管理ガイドライン策定(厚生労働省)

平成14年(2002年)4月 チーム、グループ制の導入により、桑名保健福祉部に福祉相談チーム(経営支援、生活支援、子育て支援の各グループ)、保健衛生チーム(計画調整、健康増進、衛生指導の各グループ)を設置し、部長、チームマネージャー、グループチームマネージャー、グループリーダーを置く。
(保健衛生チームマネージャーは保健所長を兼務する)

平成14年(2002年)8月 健康増進法制定(平成15年5月施行)

平成15年(2003年)4月 経営支援グループと計画調整グループを統合して経営企画グループとし、福祉相談チーム3グループ、保健衛生チーム2グループとする。

平成15年(2003年)5月 食品安全基本法制定、食品衛生法改正(リスク分析手法の導入)

平成16年(2004年)4月 チームマネージャー等のカタカナ呼称や組織名称等の改正があり、桑名保健福祉部に福祉相談室(経営企画、生活支援、子育て支援の各グループ)、保健衛生室(健康増進、衛生指導の各グループ)を設置し、部長、室長、グループリーダーを置く。
(保健衛生室長は、保健所長を兼務する。)

平成17年(2005年)4月 組織名称等の改正があり、桑名保健福祉部に企画福祉室(企画市町村支援、福祉の各グループ)、保健衛生室(健康増進、地域保健、衛生指導の各グループ)を設置し、部長、室長、グループリーダーを置く。
(保健衛生室長は、保健所長を兼務する。)

生活保護業務を四日市保健福祉事務所に、児童相談業務を北勢児童相談所に移管。

平成17年(2005年) 4月 ;薬事法改正

6月 ;食育基本法制定 (平成17年7月15日施行)

6月 ;動物の愛護及び管理に関する法律改正(平成18年6月1日施行)

10月 ;障害者自立支援法制定(平成18年4月1日施行)

平成18年(2006年)4月 機構改革により**県民局制度が廃止**され、健康福祉部直轄の地域機関

「桑名保健福祉事務所」となる。

所長-保健衛生室長(保健所長兼務)-企画福祉課長、健康増進課長、地域保健課長、衛生指導課の1室4課体制で、各課に「課長」を置く。

平成18年(2006年)12月 精神保健福祉法改正(「精神病院」を「精神科病院」に改める)

第1章 組織

2. 桑名保健福祉事務所の機構と業務内容

1. 職員の状況

(平成18年4月1日)

区 分		事務吏員	技術吏員	技術員	合 計	備 考
定員		8	15	-	23	
現在員		10	16	-	25	
所長		1	-	-	1	企画福祉課；育休1名、衛生指導課；産休1名、育休1名を含む。
保健衛生室	室長		1	-	1	
	企画福祉課	6	2	-	8	
	健康増進課	1	4	-	5	
	地域保健課	2	3	-	5	
	衛生指導課	-	5	-	5	

2. 組織及び分掌事務

所長 清水 博

保健衛生室

室長 坂井 温子

企画福祉課

課長 小野崎 政一
 主幹 小林 政文
 主幹 栗原 喜代子
 主査 藺田 恭子
 主査 加藤 ひろみ
 主事 川久保 朋子
 主事 市川 泰大
 主事 小川 浩史

健康増進課

課長 若尾 典子
 主幹 加藤 みゆき
 主査 高橋 明子
 主査 井上 恵理
 技師 城田 秀毅

地域保健課

課長 星野 郁子
 主幹 板谷 俊夫
 主幹 田中 裕子
 主査 種村 和春
 技師 宮田 志保

衛生指導課

課長 三谷 賢二
 主査 三木 恵弘
 技師 別所 敬子
 技師 豊田 朋子
 技師 宮崎 由佳子

企画福祉課

- ・ ヘルシーピープルみえ・21事業（総括、市町村支援）に関すること
- ・ 保健医療計画、福祉計画に関すること
- ・ 医療、保健、福祉関係の実習、研修に関すること
- ・ 医療、福祉従事者の免許申請に関すること
- ・ 福祉、衛生統計に関すること
- ・ 災害救助に関すること
- ・ 介護保険制度、障害者自立支援制度に関すること
- ・ 高齢者保健福祉、身体障害者福祉、知的障害者福祉に関すること
- ・ バリアフリー対策、ユニバーサルデザインに関すること
- ・ 保育所等児童福祉に関すること
- ・ 女性相談、ひとり親家庭相談に関すること

健康増進課

- ・ 結核医療、結核予防に関すること
- ・ 感染症対策、感染症発生動向調査に関すること
- ・ エイズ相談・検査に関すること
- ・ 医療法の手続きに関すること
- ・ こころの健康づくりに関すること
- ・ ヘルシーピープルみえ・21事業に関すること
- ・ 保健栄養対策に関すること
- ・ 歯科保健に関すること
- ・ 原子爆弾被害者対策に関すること
- ・ 献血、骨髄バンク登録推進に関すること

地域保健課

- ・ 精神保健福祉に関すること
- ・ 難病、特定疾患対策に関すること
- ・ 母子保健に関すること
- ・ 特定不妊治療費助成事業に関すること
- ・ 養育医療給付に関すること
- ・ 自立支援医療（精神通院・育成）給付に関すること
- ・ 小児慢性特定疾患に関すること

衛生指導課

- ・ 食品衛生に関すること
- ・ 理容、美容、クリーニングに関すること
- ・ 旅館、公衆浴場、興行場に関すること
- ・ 医薬品、毒劇物に関すること
- ・ 調理師、理美容師、クリーニング師等の免許申請に関すること
- ・ 動物愛護推進に関すること
- ・ 墓地及び火葬場に関すること

第2章 管内の概況

3. 市町の概況

1. 管内市町面積・世帯数・人口

	面積 (H17.10.1)	世帯数 (H17.10.1)	総人口 (H17.10.1)	人口密度 (人/Km ²) (H17.10.1)	老年人口割合 (%) 65才以上	後期老年人口割合 (%) 75才以上
管内	394.57	73,988	218,198	553.0	18.2	8.27
桑名市	13,661	48,092	138,957	1,017.2	17.4	7.50
いなべ市	219.58	15,654	46,957	211.2	20.8	10.45
木曾岬町	15.72	2,144	6,965	443.1	16.2	6.26
東員町	22.66	8,098	25,895	1,142.8	15.4	6.97
三重県	5,776.68	676,025	1,867,166	323.2	20.8	9.46

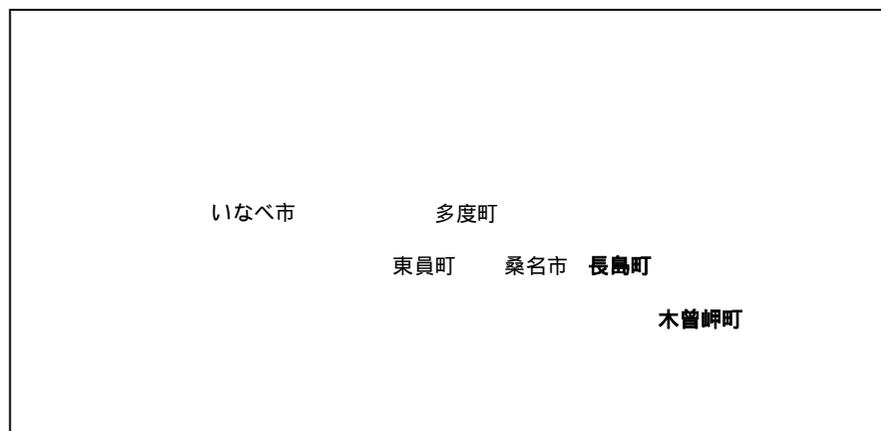
面積・世帯数・総人口・人口密度は H17.10.1 現在

三重県総合企画局統計分析情報室 「三重県勢要覧」平成18年刊による。

老年人口割合・後期老年人口割合は H16.10.1 現在（年齢不詳は含めない）

総合企画局統計調査室 「平成16年三重県年齢別人口調査結果」による。

2. 管内略図



H.15.12.1 以降



H.16.12.6 以降

3. 管内人口の推移・管内人口ピラミッド

年	S 4 0	S 4 5	S 5 0	S 5 5	S 6 0	H 2	H 7	H 1 2	H 1 7	H 2 2	H 2 7	H 3 2
	1965	1970	1975	1980	1985	1990	1995	2000	2005	2010	2015	2020
管内	145,307	152,754	161,024	172,425	188,573	200,538	208,807	213,963	217,677	219,902	220,310	218,597
桑名市	75,712	81,032	83,440	86,606	94,731	97,909	103,044	108,378	113,044	116,798	119,472	121,076
多度町	10,726	10,614	10,888	11,072	11,381	11,403	11,326	10,810	10,220	9,581	8,933	8,267
長島町	8,843	9,774	11,255	12,632	13,743	14,730	15,225	15,668	16,130	16,468	16,765	16,860
木曾岬町	2,960	3,358	4,097	4,986	6,307	7,167	7,231	7,172	7,011	6,811	6,589	6,305
北勢町	11,928	12,001	12,934	13,427	13,759	13,659	14,417	14,443	14,332	14,102	13,793	13,412
員弁町	6,834	7,053	7,768	8,339	8,502	8,284	8,776	8,687	8,500	8,316	8,089	7,798
大安町	11,048	11,052	11,503	11,836	13,248	14,095	14,873	15,186	15,412	15,524	15,534	15,414
東員町	8,599	9,562	10,770	15,538	18,949	25,447	26,235	26,305	26,250	26,284	26,168	25,746
藤原町	8,657	8,308	8,369	7,989	7,953	7,844	7,680	7,314	6,859	6,379	5,879	5,398

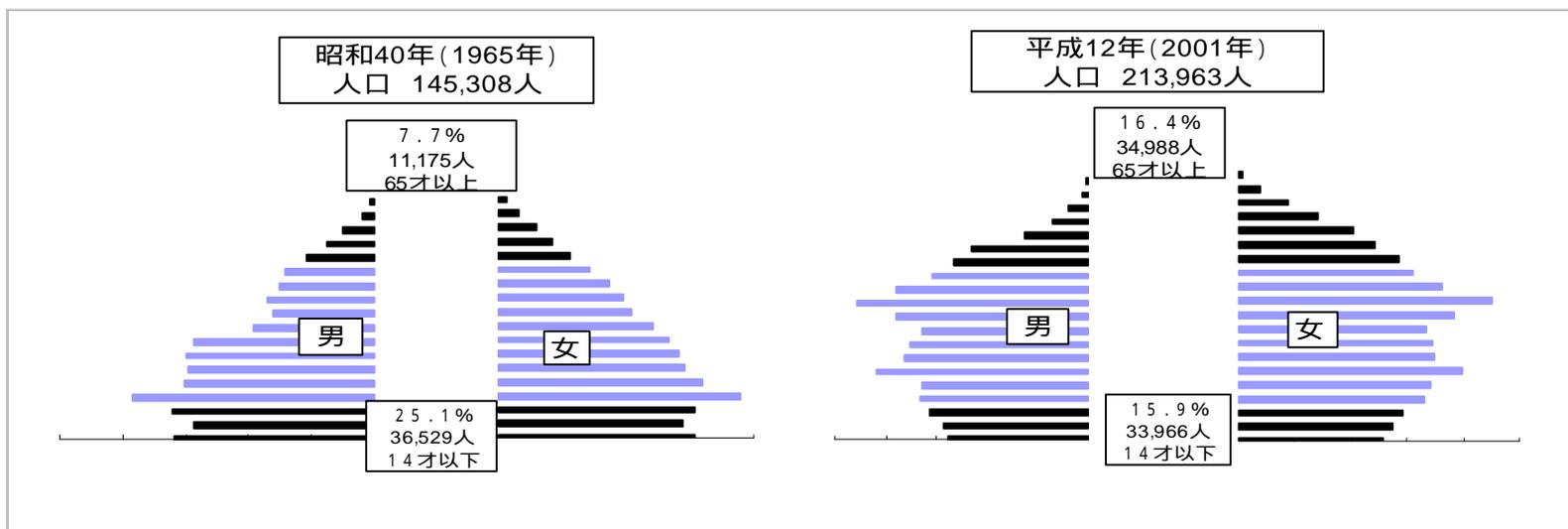
県のトップページ (<http://www.pref.mie.jp/>) - 最新の統計情報/みえ DataBox - 三重県統計情報データベース

2005年以降は、2000年を基準にした予測値「将来人口予測」(2000年版による) 政策部統計室(059-224-2048)による。

平成15年12月1日 北勢町、員弁町、大安町、藤原町が合併し、いなべ市となる。

平成16年12月6日 桑名市、多度町、長島町が合併し、桑名市となる。

三重県の人口(男女別)ピラミッド(国勢調査年:昭和40年10月1日現在と平成12年10月1日現在の人口構成)



4. 人口動態統計

- . 平成16年の出生数は、1,801人で、前年の1,934人に対して133人減少している。出生率は、人口千対で8.3、前年(9.0)に対して0.7減少しているが、三重県の8.9、全国の8.8と比べ0.5下回っている。
- . 平成16年の死亡数は1,659人で、前年の1,621人に対して38人増加し、死亡率は、人口千対7.7で、前年よりも上回っているが、三重県の8.7、全国8.2のよりも下回っている。
死因別では、第1位悪性新生物475人、第2位心疾患(高血圧症を除く)246人、第3位脳血管疾患205人の順になっている。
- . 自然増加数は、142人で、前年の313人に対して171人減少している。
- . 死産数は、40胎で、前年に対して、5胎減少している。
- . 婚姻件数は、1,076件で、前年に対して、22件減少し、婚姻率は人口千対5.0である。
- . 離婚件数は、364件で、前年に対して、15件減少し、離婚率は人口千対1.69である。

1. 人口動態総覧(数)

	人口			出生数			死亡数			自然増 加数	乳児死亡数			新生児死亡 数	死産			周産期死亡数			婚姻	離婚
	総数	男	女	総数	男	女	総数	男	女		総数	男	女		総数	自然	人工	総数	妊娠22 週以後 の死産	早期新 生児死 亡		
管内	218,198	107,716	110,482	1,801	865	936	1,659	864	795	142	5	2	3	0	40	15	25	3	3	0	1,076	364
桑名市	138,959	68,142	70,817	1,254	622	632	1,034	549	485	220	4	2	2	0	26	5	21	1	1	0	722	235
いなべ市	46,379	23,413	22,966	352	158	194	408	204	204	-56	1	0	1	0	9	7	2	2	2	0	246	73
木曾岬町	6,965	3,474	3,491	35	18	17	45	20	25	-10	-	-	-	-	1	-	1	-	-	-	24	13
東員町	25,895	12,687	13,208	160	67	93	172	91	81	-12	0	-	0	-	4	3	1	-	-	-	84	43
全国	127,756,815	63,349,864	65,415,951	1,110,721			1,028,602			82,119	3,122			1,622	34,365			5,541			720,417	270,804
三重県	1,867,166	907,294	959,872	16,287			16,030			257	38			17	395	145	250	55	42	13	9,600	3,595

人口数は、H17.10.1 現在。 その他は、H16年 人口動態調査（確定数）

2. 人口動態総覧(率)

	出生率	死亡率	自然増加率	乳児死亡率	新生児死亡率	死産率			周産期死亡率			婚姻	離婚	合計特殊出生率
	総数	総数		総数	総数	総数	自然	人工	総数	妊娠22週以 後の死産	早期新生児 死亡			
管内	8.3	7.7	0.7	2.8	-	21.7	8.1	13.6	1.7	1.7	-	5.0	1.69	1.27
桑名市	9.2	7.6	1.6	3.2	-	20.3	3.9	16.5	0.8	0.8	-	5.3	1.72	1.33
いなべ市	7.7	8.9	1.2	2.8	-	24.9	19.4	5.5	5.6	5.6	-	5.4	1.60	1.32
木曾岬町	4.9	6.4	-1.4	-	-	27.8	-	27.8	-	-	-	3.4	1.84	0.81
東員町	6.1	6.6	-0.5	-	-	24.4	18.3	6.1	-	-	-	3.2	1.65	0.97
全国	8.8	8.2	0.5	2.8	1.5	30.0	12.5	17.5	5.0	3.9	1.1	5.7	2.15	1.29
三重県	8.9	8.7	0.1	2.3	1.0	23.7	8.7	15.0	3.4	2.6	0.8	5.2	1.96	1.34

H16年 人口動態調査（確定数）

3. 市町別・性別・出生体重区分別出生数

	総数	性別計		1000g未満		1000g～		1500g～		2000g～		2500g～		3000g～		3500g～		4000g～		4500g～		不詳		2500g未満 (再掲)	
		男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女
管内	1,801	865	936	2	1	4	2	10	8	43	70	272	377	390	395	127	77	17	5	-	-	-	1	59	81
桑名市	1,254	622	632	1	-	3	1	6	4	31	41	204	267	276	268	88	45	13	5	-	-	-	1	41	46
いなべ市	352	158	194	-	-	1	-	3	3	8	19	47	63	72	86	25	23	2	-	-	-	-	-	12	22
木曾岬町	35	18	17	1	-	-	-	-	-	-	1	4	5	11	9	2	2	-	-	-	-	-	-	1	1
東員町	160	67	93	-	1	-	1	1	1	4	9	17	42	31	32	12	7	2	-	-	-	-	-	5	12

出生数 H16年 人口動態調査 出生票 (確定数)

4. 母の年齢別・出生順位別出生数(管内の件数でなく、三重県の件数)

	総数	第1子	第2子	第3子	第4子	第5子以上
全年齢	16,287	7,744	6,288	1,881	284	90
～14歳	1	1	-	-	-	-
15歳～19歳	318	292	26	-	-	-
20歳～24歳	2,030	1,385	572	71	2	-
25歳～29歳	5,971	3,334	2,165	420	45	7
30歳～34歳	5,966	2,162	2,736	920	116	32
35歳～39歳	1,791	512	733	417	93	36
40歳～	210	58	56	53	28	15
不詳	-	-	-	-	-	-

出生数 H16年 人口動態調査 出生票 (確定数)

5. 市町別・主要死因別死亡数

	[全死因]	Se01[結核]	Se02[悪性新生物]	Se14[糖尿病]	Se15[高血圧疾患]	Se16[心疾患(高血圧症を除く)]	Se21[脳血管疾患]	Se25[大動脈瘤及び解離]	Se26[肺炎]	Se27[慢性閉塞性肺疾患]	Se28[喘息]	Se29[肝疾患]	Se30[腎不全]	Se31[老衰]	Se32[不慮の事故]	Se34[自殺]
管内	1,659	3	475	20	7	246	205	17	181	23	5	23	31	65	77	48
桑名市	1034	1	297	15	3	147	135	15	112	16	2	18	21	41	37	30
いなべ市	408	-	115	4	4	66	42	1	45	3	2	2	9	18	28	10
木曾岬町	45	-	10	-	-	8	5	-	4	-	-	-	-	2	3	4
東員町	172	2	53	1	-	25	23	1	20	4	1	3	1	4	9	4

死亡数 H16年 人口動態調査 死亡票 (確定数)

6. 市町別・主要死因別死亡率

	[全死因(率)]	Se01(率)	Se02(率)	Se14(率)	Se15(率)	Se16(率)	Se21(率)	Se25(率)	Se26(率)	Se27(率)	Se28(率)	Se29(率)	Se30(率)	Se31(率)	Se32(率)	Se34(率)
管内	769.1	1.4	220.2	9.3	3.2	114.0	95.0	7.9	83.9	10.7	2.3	10.7	14.4	30.1	35.7	22.3
桑名市	755.5	0.7	217.0	11.0	2.2	107.4	98.6	11.0	81.8	11.7	1.5	13.2	15.3	30.0	27.0	21.9
いなべ市	891.8	-	251.4	8.7	8.7	144.3	91.8	2.2	98.4	6.6	4.4	4.4	19.7	39.3	61.2	21.9
木曾岬町	636.0	-	141.3	-	-	113.1	70.7	-	56.5	-	-	-	-	28.3	42.4	56.5
東員町	660.9	7.7	203.7	3.8	-	96.1	88.4	3.8	76.9	15.4	3.8	11.5	3.8	15.4	34.6	15.4

死亡率 H16年 人口動態調査 死亡票 (確定数)

7.市町村別・性別・悪性新生物部位別死亡数

	性別	総数	食道	胃	結腸	直腸S状結腸移行部及び直腸	肝及び肝内胆管	胆のう及びその他の胆道	膵	気管、気管支及び肺	乳房	子宮	白血病	その他
管内	男	282	9	58	20	13	37	14	21	64	-	-	6	6
	女	193	1	43	18	6	11	18	9	24	14	7	2	6
桑名市	男	180	5	40	17	10	23	10	12	40	-	-	4	4
	女	117	1	29	13	3	6	11	4	15	7	5	-	2
いなべ市	男	66	1	11	1	3	11	3	7	17	-	-	1	2
	女	49	-	12	3	1	4	7	3	5	2	2	-	3
木曾岬町	男	4	1	1	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-
	女	6	-	1	-	-	-	-	1	2	1	-	-	-
東員町	男	32	2	6	2	-	3	1	2	5	-	-	1	-
	女	21	-	1	2	2	1	-	1	2	4	-	2	1

死亡数 H16年 人口動態調査 死亡票 (確定数)

5. 医 務

医療法等関係法令に基づき、管内医療機関等の開設、変更・廃止等の事務手続きを行い、必要に応じて管内医療機関等への立入検査を実施し、構造設備等法令基準の適合について指導を行った。

1. 市町別医療関係施設数

(H18年3月31日 現在)

種別 市町別	合 計	病 院		一般診療所		歯 科 診療所	助産所		施術所	歯 科 技工所
		一般	精神	有床	無床		有床	無床		
管内 計	413	13	4	16	123	81	1	3	135	37
桑名市	283	10	1	16	84	55	1	2	91	23
いなべ市	85	3	1	-	25	16	-	1	29	10
木曾岬町	6	-	-	-	2	2	-	-	2	-
東員町	39	-	2	-	12	8	-	-	13	4

2. 市町別病院病床数

(年度末)

区分 市町別	平成14年度		平成15年度		平成16年度		平 成 17 年 度				
	施設 数	病床数	施設 数	病床数	施設 数	病床数	施設 数	病 床 種 別			
								計	一 般	療 養	精 神
管内 計	18	2,806	18	2,776	18	2,776	17	2,739	1,175	633	931
桑名市	9	1,090	9	1,094	12	1,627	11	1,627	849	530	248
いなべ市	4	643	4	641	4	641	4	623	326	103	194
多度町	2	375	2	343	/	/	/	/	/	/	/
長島町	1	190	1	190	/	/	/	/	/	/	/
木曾岬町	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
東員町	2	508	2	508	2	508	2	489	-	-	489

3. 管内医療従事者数

	医 師	歯 科 医 師	薬 剤 師	保 健 師	助 産 師	看 護 師	准 看 護 師	歯 科 衛 生 士	歯 科 技 工 士	計
平成10年	272	102	267	44	17	785	713	73	55	2,328
平成12年	278	108	282	43	10	861	714	90	55	2,441
平成14年	276	102	306	48	11	913	760	94	53	2,563
平成16年	291	97	320	57	14	1025	762	85	49	2,700

(注) 2年に一度実施される医療関係従事者届による調査結果。
平成16年の結果はまだ公表されていません。

6. 栄養改善

1 給食施設数及び指導状況

健康増進法第22条に基づき、特定多数人に対して継続的に食事を提供する施設の栄養改善指導を実施した。

巡回指導

	特定給食施設	一般給食施設	計
施設数	84	45	129
指導数	22	4	26

集団給食従事者研修会

内 容：講義「給食施設の衛生管理」「地元産しじみの知識」
調理実習「三重の食文化を活かし、おいしさの感動を提供するために」
月 日：平成17年11月21日
場 所：桑名庁舎 第一会議室及び栄養指導室
参加者：集団給食に従事する管理栄養士・栄養士等 42名

2 食生活改善推進員数及び地区組織活動支援状況

地域における食生活改善のボランティアとして活躍している食生活改善推進員の地区組織活動の円滑な運営が行われることを目的に経験年数に応じた研修会を開催した。

食生活改善推進員数 (平成18年3月31日現在)

市町名	計	桑名市	いなべ市	木曽岬町	東員町
会員数	625	258	230	28	109

食生活改善地区組織支援研修

内 容	回数	延受講者数
会員歴1～2年目研修	1	20
会員歴3～5年目研修	-	-
地区役員研修	-	-
計	1	20

3 管内行政栄養士配置数及び技術支援状況

健康増進法第18条に基づき、市町栄養士の資質の向上と連携を図ることを目的に研修会及び技術支援を実施し、市町村栄養改善事業の円滑な推進を図った。

管内市町栄養士設置状況

嘱託を含む。 平成18年4月1日現在

	計	県保健福祉事務所	桑名市			いなべ市	木曽岬町	東員町
			桑名市	多度町	長島町			
平成13年	6	1	1	1	1	1	1	-
平成14年	8	1	2	1	1	2	1	-
平成15年	9	1	2	1	1	3	1	-
平成16年	9	1	2	1	1	3	1	-
平成17年	8	1	4			2	1	-
平成18年	9	1	5			2	1	-

管内市町行政栄養士研修会開催状況

・実施回数 6回/年

7. 食品衛生

飲食に起因する衛生上の危害を未然に防止するため、食品施設の重点監視、夏期・年末年始の一斉監視、食品衛生専門監視班による製造業施設等の監視及び食品の収去検査を実施するとともに、各施設の食品衛生責任者に対する食品衛生講習会、その他専門業種・大規模施設従事者に対する衛生講習会を開催することにより、食品衛生思想の普及向上に努めた。

1. 食品関係施設数及び監視状況

(1) 許可を要する施設

業種	項目 施設数	新規	更新	廃業	監視数
総数	3,958	369	456	356	1,703
飲食店営業	2,034	238	186	237	931
菓子（パンを含む）製造業	262	18	25	14	132
乳製品製造業	-	-	-	-	-
魚介類販売業	236	10	34	17	157
魚介類せり売営業	1	-	-	-	-
魚肉ねり製品製造業	3	-	-	-	4
食品の冷凍又は冷蔵業	15	3	-	1	10
かん詰びん詰食品製造業	7	2	1	1	10
喫茶店営業	590	52	94	19	58
あん類製造業	1	-	-	-	1
アイスcream類製造業	76	4	11	6	19
乳類販売業	369	18	55	32	136
食肉処理業	8	-	-	-	15
食肉販売業	240	13	38	18	163
食肉製品製造業	1	-	-	-	1
食用油脂製造業	1	-	-	-	-
みそ製造業	8	2	3	1	7
醤油製造業	6	1	2	1	7
ソース類製造業	4	1	1	2	8
酒類製造業	3	-	1	-	1
豆腐製造業	12	1	-	-	3
納豆製造業	2	-	-	-	-
めん類製造業	22	1	1	2	3
そうざい製造業	39	3	2	3	26
添加物製造業	2	-	1	-	3
清涼飲料水製造業	9	2	-	1	7
氷雪製造業	2	-	1	-	-
氷雪販売業	5	-	-	1	1

(2) 許可を要しない施設

総数		257	80
給食	学校	46	32
	病院・診療所	34	17
	事業所	17	1
	保育園・その他	88	4
食品製造業		70	25
添加物の製造業		2	1

2. 食品等の収去検査結果

区 分	収去検体数	不良検体数	不良理由（延数）		
			細菌	化学	その他
魚介類	48	0	-	-	-
魚介類加工品	6	0	-	-	-
肉、卵類及びその加工品	42	0	-	-	-
牛乳及び乳製品	0	-	-	-	-
穀類及びその加工品	12	0	-	-	-
野菜・果物類及びその加工品	57	0	-	-	-
菓 子 類	18	0	-	-	-
酒精飲料	1	0	-	-	-
その他の食品	21	0	-	-	-
小 計	205	0	-	-	-
保存食	0	-	-	-	-
器具等のふき取り検査	19	0	-	-	-

3. 食中毒発生状況

年 度	発生年月日	発生場所	摂食者数	患者数	原因食品	原因物質
平成13年度	管内発生0件					
平成14年度	6.22	桑名市	22	11	魚介類	腸炎ビブリア
	2.12	桑名市	54	22	生カキ	ノロウイルス
平成15年度	10.7	いなべ市	1	1	フグ	フグ毒
	1.21	桑名市	22	15	生カキ	ノロウイルス
平成16年度	管内発生0件					
平成17年度	管内発生0件					

8. 環境衛生・薬事・動物取扱業関係営業施設

1. 環境衛生関係営業施設数及び監視指導状況

環境衛生営業施設について、環境衛生監視員が各法令に基づきそれぞれ公衆衛生上遵守すべき事項について監視指導を行った。また、時代のニーズに対応した新しい施設が増加しつつあることから、営業の近代化、合理化のための必要な指導、助言を行った。

環境衛生関係営業施設数及び監視指導状況

区分	理容所	美容所	クリーニング所	公衆浴場	興行場	旅館業
施設数	191	286	326	39	11	71
監視指導件数	27	14	54	11	2	45
開設数	3	11	7	2	2	2
廃止数	8	1	15	1	2	8

2. 薬事関係営業施設数及び監視指導状況

薬事関係法令の規定に基づき、薬局及び医薬品販売業者等への監視指導を行い、医薬品等の品質確保に努めるとともに、毒物劇物営業者及び麻薬取扱者等に対しても適正な取扱指導を行い危害の防止に努めた。

薬事関係営業施設数及び監視指導状況

業種		施設数	監視数	業種		施設数	監視数
薬局		86	42	高度管理 医療機器	販売業	50	70
医薬品 販売業	(卸売)一般	14	10		賃貸業	8	10
	薬種商	18	7	管理 医療機器	販売業	523	201
	特例	13	0		賃貸業	20	8
薬局 医薬品	製造業	22	3	毒物劇物	販売業	117	23
	製造販売業	22	3		届出	1	0
					製造業	4	2

3. 動物取扱業営業届施設数及び監視指導状況

動物の愛護及び管理に関する法律（平成12年12月1日に動物の保護及び管理に関する法律が一部改正）により動物取扱業は届出が必要になり、届出のあった施設の監視指導を行った。

動物取扱業営業届施設数及び監視指導状況

年度	施設数	届出数	廃止数	監視指導件数
平成13年度	28	7	1	28
平成14年度	27	2	3	27
平成15年度	38	8	-	10
平成16年度	37	2	3	16
平成17年度	32	1	6	10

9. 民生委員・児童委員等配置状況

平成18年4月1日

1. 民生委員・児童委員数

	民生委員・児童委員		主任児童委員		計	
	定数	配置数	定数	配置数	定数	配置数
桑名市	217	217	18	18	235	235
いなべ市	92	92	8	8	100	100
桑名郡	11	11	2	2	13	13
員弁郡	47	47	4	4	51	51
合計	367	367	32	32	399	399

2. 身体障害者、知的障害者相談員数

	身体障害者相談員	知的障害者相談員	計
桑名市	4	4	8
いなべ市	3	1	4
桑名郡	1	-	1
員弁郡	-	1	1
合計	8	6	14

第3章 保健・医療・福祉資源の状況

10. 社会福祉施設等の整備状況

1. 社会福祉施設の整備状況（市町別）

平成18年4月1日現在(単位:ヶ所)

設置種別		市町名						備考
		木曾 岬町	東員 町	郡 計	桑名 市	いな べ市	計	
生活保護法	救護施設	-	-	-	-	-	-	
児 童 福 祉 法	助産施設	-	-	-	-	1	1	
	乳児院	-	-	-	-	-	-	
	母子生活支援施設	-	-	-	1	-	1	
	児童館	-	-	-	2	3	5	
	児童養護施設	-	-	-	-	-	-	
	知的障害児施設	-	-	-	-	-	-	
	知的障害児通園施設	-	-	-	-	-	-	
	進行性筋萎縮症児療育委託施設	-	-	-	-	-	-	
	重症心身障害児委託施設	-	-	-	-	-	-	
	保育所	2	5	7	26	14	47	
	児童遊園	-	-	-	-	-	-	
	児童デイサービス事業所	1	-	1	1	-	2	
身 体 障 害 者 福 祉 法	重度身体障害者更生施設	-	-	-	-	-	-	
	身体障害者療養施設	-	-	-	-	-	-	
	重度身体障害者授産施設	-	-	-	-	-	-	
	身体障害者通所授産施設	-	-	-	-	1	1	()は分場を外数 で表す
	身体障害者福祉センター	-	-	-	-	(1)	(1)	
	指定身体障害者デイサービス事業実施施設	-	1	1	2	1	5	
知 的 障 害 者 福 祉 法	知的障害者入所更生施設	-	-	-	1	-	1	
	知的障害者通所更生施設	-	-	-	-	-	-	
	知的障害者授産施設 (小規模通所授産施設を含む)	-	1	1	4	4 (2)	10 (2)	()は分場の数 を外数で表す
	知的障害者グループホーム	-	4	4	-	2	6	
	知的障害者生活ホーム	-	-	-	1	-	1	
	心身障害者小規模作業所	1	-	1	6	-	7	
老 人 福 祉 法 他	養老老人ホーム	-	-	-	1	1	2	
	特別養老老人ホーム	1	1	2	4	2	8	
	軽費老人ホーム	-	-	-	2	-	2	
	ケアハウス	-	1	1	-	-	1	
	有料老人ホーム	-	-	-	2	-	2	
	老人福祉センター	1	-	1	4	2	7	
	老人憩いの家	-	-	-	-	1	1	
	デイサービスセンター	3	8	11	30	14	55	
在宅介護支援センター	2	3	5	11	5	21		
その他	隣保館	-	-	-	2	-	2	

2. 児童福祉施設

(1) 保育所

管内市町における保育児童数は4,259人で、前年度より58人減少した。また、保育所の定員が増加したため、保育所充足率が93.7%となり、定員を満たさない状況が続いている。

年齢構成を見ると、4歳児以上が49.5%、3歳児28.6%、1～2歳児20.4%、0歳児1.5%の順となっている。

平成18年4月1日現在

市町名	施設数	定員	入所児童数	年齢別内訳				学齢前児童数 0～5歳	整備率	僻地保育所	
				0歳	1～2歳	3歳	4歳以上			施設数	入所児童数
H16年度	箇所 47	人 4,500	人 4,289	人 66	人 835	人 1,294	人 2,094	人 12,621	% 35.7		
H17年度	47	4,515	4,317	64	875	1,283	2,096	12,232	36.9		
H18年度	47	4,545	4,259	62	870	1,219	2,108	12,144	37.4		
木曾岬町	2	130	78	1	18	28	31	274	47.4		
東員町	5	330	320	15	91	77	137	1,310	25.2		
郡部計	7	460	398	16	109	105	168	1,584	29.0		
桑名市	26	2,610	2,636	43	593	731	1,269	8,061	32.4		
いなべ市	14	1,475	1,225	3	168	383	671	2,499	59.0		

$$\text{整備率} = \text{保育所定員} / \text{学齢前児童数} \times 100$$

(2) 児童福祉施設(保育所を除く)

平成18年4月1日現在

施設の種別	施設名	市町名	定員
助産施設	いなべ総合病院	いなべ市	1
母子生活支援施設	桑名市山崎苑	桑名市	17
児童館	いなべ市大安丹生川上児童館	いなべ市	
	いなべ市大安梅戸北児童館	いなべ市	
	いなべ市大安中央児童センター	いなべ市	
	桑名市深谷児童センター	桑名市	
	桑名市深谷北児童センター	桑名市	
児童デイサービス事業所	桑名市療育センター	桑名市	30
	児童デイサービス事業所あいあい	木曾岬町	10

3. 障害者福祉施設の状況

(1) 身体障害者福祉施設

施設の種別	施設名	市町名	定員	現員
身体障害者通所授産施設	サンフラワーガーデン分場あじさいの家	いなべ市	11	10
指定身体障害者デイサービス事業実施施設	桑名市福祉センターデイサービスセンター	桑名市	15	-
	指定デイサービスたど	桑名市	15	-
	東員町デイサービスセンターふれあい	東員町	5	-
	木曽岬町社会福祉協議会	木曽岬町	-	-

(2) 知的障害者施設

ア. 知的障害者更生施設

平成18年4月1日現在(単位:人)

施設名	所在地	定員	現員
くわのみ	桑名市	40	40

イ. 知的障害者通所授産施設(小規模通所授産施設含)

平成18年4月1日現在(単位:人)

施設名	所在地	定員	現員
東員いずみ作業所	東員町	40	42
〃 分場	東員町	5	
バンブーハウス	いなべ市	37	33
たんぼぼ作業所	いなべ市	20	20
分場 ふじわら作業所	いなべ市	15	12
分場 コスモス作業所	いなべ市	9	8
広陽園	桑名市	30	30
くわのみ	桑名市	10	8
バオバブの樹	桑名市	12	11
ワークセンターのぞみ	桑名市	35	34
すずかぜ夢の風分場	桑名市	10	5

ウ. グループホーム

平成18年4月1日現在(単位:人)

施設名	所在地	定員	現員	バックアップ施設
ゆきわり草 第1	東員町	4	4	東員いずみ作業所
ゆきわり草 第2	東員町	4	3	東員いずみ作業所
つくしの家	東員町	4	4	東員いずみ作業所
すぎなハウス	東員町	4	2	東員いずみ作業所
高柳ホーム	いなべ市	4	4	バンブーハウス
平塚ホーム	いなべ市	4	2	バンブーハウス

エ．生活ホーム

平成18年4月1日現在（単位：人）

施設名	所在地	定員	現員	バックアップ施設
ありんこホーム	桑名市	3	3	広陽園

(3)心身障害者小規模作業所

平成18年4月1日現在（単位：人）

施設名	所在地	定員	現員
桑名市みのり作業所	桑名市	19	16
ワークショップ みらい	桑名市	14	10
ワークス・スクラム	桑名市	14	14
夢工房	桑名市	9	8
さらい	桑名市	9	5
多度町ひまわりワークス	桑名市	14	11
木曾岬町さくら作業所	木曾岬町	9	10

4. 高齢者福祉施設

(1) 指定居宅サービス事業者等指定状況

平成18年4月1日現在

種 類		計	桑名市	いなべ市	木曾岬町	東員町
指定居宅介護支援事業所		53	37	8	2	6
指定居宅サービス事業所	訪問介護	36	22	8	2	4
	訪問入浴介護	3	2	1	-	-
	訪問看護ステーション	5	4	1	-	-
	通所介護	64	37	14	3	10
	通所リハビリテーション	6	5	-	1	-
	認知症対応型共同生活介護	11	7	3	-	1
	短期入所生活介護	9	5	2	1	1
	特定施設入所者生活介護	1	1	-	-	-
	福祉用具貸与	16	13	2	1	-
介護保険施設	介護老人福祉施設	8	4	2	1	1
	介護老人保健施設	7	5	1	-	1
	介護療養型医療施設	7	7	-	-	-

(2) 在宅介護支援センター設置状況

平成18年3月31日現在

	桑名市	いなべ市	木曾岬町	東員町	計
基幹型	1	1	1	1	4
地域型	10	4	1	2	17
計	11	5	2	3	21

11. 各種免許申請・取得状況

1. 医療・福祉従事者免許申請・交付状況

(平成17年度)

免許の種類	准看護師	保健師	助産師	看護師	医師	歯科医師	臨床検査技師	衛生検査技師
申請数	45	8	4	107	5	0	4	0
免許の種類	放射線技師	歯科技工士	理学療法士	作業療法士	栄養士	管理栄養士	介護支援専門員	
申請数	2	4	9	5	48	17	8	

2. 調理師免許取得状況

年度	申込書数	受験者数	合格者数	合格率
平成13年度	127	114	67	58.8%
平成14年度	131	117	73	62.4%
平成15年度	98	87	59	67.8%
平成16年度	86	73	60	82.2%
平成17年度	59	51	39	76.5%

3. 製菓衛生師免許取得状況

年度	申込者数	受験者数	合格者数	合格率
平成13年度	4	4	3	75.0%
平成14年度	8	7	5	71.4%
平成15年度	13	11	9	81.8%
平成16年度	5	5	4	80.0%
平成17年度	10	9	7	77.8%

12. 市町保健師配置状況

1. 保健師設置状況

平成18年4月1日現在

	計	県保健福祉事務所	桑名市			いなべ市	木曽岬町	東員町
			桑名市	多度町	長島町			
平成13年	43	7	9	3	5	13	3	3
平成14年	46	7	9	4	6	13	3	4
平成15年	50	7	10	5	6	14	4	4
平成16年	52	8	10	5	6	15	4	4
平成17年	48	8	19			13	5	4
平成18年	50	7	19			13	6	5

社会福祉協議会、在宅介護支援センター、常勤嘱託保健師を含む

13. 身体障害者福祉・知的障害者福祉

1. 身体障害者手帳所持者の障害別状況

2市2郡における身体障害者手帳の所持者（児）数は6,356人であり、これを障害別に見ると、視覚障害が6.9%、聴覚障害が9.8%、音声言語障害が1.0%、肢体不自由が53.7%、内部障害が28.4%となっている。

身体障害者手帳所持者の障害別状況

平成18年4月1日現在（単位：人）

市町名	視覚障害	聴覚平衡 障害	音声言語 障害	肢体不自 由	内部障害	計
前年度	430	611	66	3,369	1,752	6,228 (129)
木曾岬町	14	10	4	93	56	177 (1)
東員町	48	61	10	359	182	660 (14)
小計	62	71	14	452	238	837 (15)
桑名市	278	354	36	2,010	1,137	3,815 (82)
いなべ市	102	202	16	951	433	1,704 (29)
管内計	442	627	66	3,413	1,808	6,356 (126)

()内は、児の内数

2. 療育手帳所持者の状況

2市2郡における療育手帳の所持者（児）数は985人であり、対前年比では6.6%の増加となっている。

等級別内訳では、A（最重度・重度）が3.3%の増、B（中度・軽度）が10%の増となっている。

療育手帳所持者の状況

平成18年4月1日現在（単位：人）

市町名	等級 A	等級 B	計
平成16年度	448 (116)	428 (110)	876 (226)
平成17年度	475 (127)	449 (118)	924 (245)
平成18年度	491 (127)	494 (142)	985 (269)
木曾岬町	12 (1)	15 (7)	27 (8)
東員町	56 (9)	46 (14)	102 (23)
郡部小計	68 (10)	61 (21)	129 (31)
桑名市	299 (88)	330 (96)	629 (184)
いなべ市	124 (29)	103 (25)	227 (54)

()内は、児の内数

14. 精神保健福祉対策事業

1. 精神障害者地域生活支援事業

(1) 精神障害者保健福祉手帳交付事業

		年度末人員	級 別 内 訳		
			1 級	2 級	3 級
平成15年度		4 5 7	8 7	3 2 0	5 0
平成16年度		5 6 8	1 0 8	4 0 3	5 7
平成17年度		6 7 7	1 3 5	4 7 0	7 2
平成 1 7 年 度 内 訳	桑名市	4 9 4	9 8	3 4 6	5 0
	いなべ市	1 1 0	2 3	7 3	1 4
	木曽岬町	1 8	1	1 6	1
	東員町	5 5	1 3	3 5	7

(2) 精神障害者保健福祉相談指導事業

在宅の精神障害者及びその家族に対し、社会復帰の促進や自立と社会参加の促進のための相談を行った。

年度	区分	面接件数		訪問件数		電話件数
		実人員	延人員	実人員	延人員	延件数
平成15年度		9 8	2 0 1	4 9	8 9	1, 0 2 6
平成16年度		9 8	1 4 2	4 2	6 3	8 1 9
平成17年度		9 3	1 2 3	4 1	9 3	7 7 3

2. 精神障害者社会復帰推進事業

(1) 精神障害者社会参加支援事業

生活訓練(デイケア)

在宅精神障害者の生活自立を目指し、社会復帰促進のために生活訓練を行った。

ア. デイケアの月別参加状況及び開催回数

区分	月別	総数	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	開催回数
平成15年度		275	15	30	32	18	33	20	29	23	20	20	12	23	27
平成16年度		327	37	22	23	36	24	20	22	19	49	26	20	29	27
平成17年度		299	19	14	22	34	22	36	24	27	26	24	25	26	26

イ. デイケア参加者の社会復帰状況(H18.3.31現在)

年度	内訳	社会復帰	デイケア継続
平成15年度		1	2 0
平成16年度		1	1 8
平成17年度		1	2 3

イ．フリースペース（ホワイトルーム）

在宅精神障害者が自由に集い、過ごせる場所を提供し、精神障害者同士の交流を図った。

開催回数：週2回 年99回

参加者数：延べ 当事者298名

ボランティア・地域生活支援センター等256名

デイケア等開催日

名 称	日 時
デイケア（はまぐり会）	毎月第1, 3, 5, 金曜日（9:30～15:00）
フリースペース（ホワイトルーム）	毎週 火、水曜日（9:30～15:00）

ウ．啓発広報

精神保健福祉講座（ボランティア養成講座）

目的：精神障害者に対する誤解や社会的偏見を是正し、精神障害者の社会復帰及び社会参加に対する地域住民の関心と理解を深める。

開催回数：1クール 7回 年1クール開催

参加者数：延べ 172名

内容：精神保健福祉に関する講義・体験実習等

エ．地域支援ネットワークづくり

精神保健福祉学習会

目的：精神保健福祉に関わる関係者の資質の向上を図るとともに各機関の役割について学ぶことで支援ネットワークの充実を図る。

実施回数：8回

対象：精神保健福祉関係職員

参加者数：178名

内容：精神疾患の理解について・精神障害者ケアマネジメント

精神保健福祉業務連絡会議：月1回（年12回）

定期的な連絡会議を開催し精神保健福祉に関わる関係機関との連携強化を図った。

精神保健福祉ボランティアへの支援

精神障害者の支援体制整備のため NPO（精神保健福祉ボランティア）との協働体制の強化に努めた。

- ・精神保健福祉ボランティア定例会への参加：月1回

- ・小規模作業所の運営への支援協力

（2）精神障害者共同（小規模）作業所運営費補助事業

在宅精神障害者に対し、集団による作業訓練及び生活指導等を行い、その社会復帰、社会参加の促進及び精神障害者の社会的自立と福祉の向上を図る共同（小規模）作業所に対し経費を支弁する市町に補助を行った。

	補助作業所数	金 額 千円	補助事業者
平成15年度	1	3,643	桑名市
平成16年度	1	3,643	桑名市
平成17年度	2	5,846	桑名市
作業所名	ワークルーム桑友（桑名市）・千姫（桑名市）		

（3）精神障害者社会復帰施設運営費補助金

精神障害者社会復帰施設を運営する者に対し、その運営に要する経費の一部を補助す

ることにより、精神障害者の地域社会における社会適応訓練の場を確保し、社会復帰の促進を図った。

年 度	金 額 千円	補 助 事 業 者
平成15年度	38,212	医療法人北勢会 生活訓練施設「あじさい」
	22,266	医療法人北勢会 地域生活支援センター「アジサイ」
	19,006	医療法人北勢会 福祉ホームB型「てまり花」
	19,006	医療法人康誠会 福祉ホームB型「TOUIN」
	(1人・12月) 1,102,800	社会福祉法人晴山会 知的障害者通所授産施設 「バンブーハウス」(授産施設相互利用)
平成16年度	38,000	医療法人北勢会 生活訓練施設「あじさい」
	22,028	医療法人北勢会 地域生活支援センター「アジサイ」
	18,807	医療法人北勢会 福祉ホームB型「てまり花」
	18,807	医療法人康誠会 福祉ホームB型「TOUIN」
	(1人・12月) 1,102,800	社会福祉法人晴山会 知的障害者通所授産施設 「バンブーハウス」(授産施設相互利用)
平成17年度	38,829	医療法人北勢会 生活訓練施設「あじさい」
	18,000	医療法人北勢会 地域生活支援センター「アジサイ」
	18,387	医療法人北勢会 福祉ホームB型「てまり花」
	18,387	医療法人康誠会 福祉ホームB型「TOUIN」
	(1人・8月) 736,800円	社会福祉法人晴山会 知的障害者通所授産施設 「バンブーハウス」(授産施設相互利用)

(4) 精神障害者通院患者リハビリテーション事業

精神障害者を一定期間事業所に通わせ、集中力、対人能力、仕事に対する持久力、環境適応能力等の涵養を図るための社会適応訓練を行い再発防止と社会的自立を促進し、もって精神障害者の社会復帰を図った。

年 度	奨励金(千円)	協 力 事 業 所	(訓練人数・月数・人数)
平成16年度	450	(有) フジタ	(1人・9月・225日)
	242	(株) 瀬古製作所	(1人・12月・121日)
	147	(有) 加藤商店	(1人・12月・73.5日)
	480	(有) ちなみ鍍金工業所	(1人・12月・240日)
	12	(有) イワタ	(1人・2月・6日)
	52	(株) 金星堂	(1人・2月・26日)
平成17年度	308	(株) 瀬古製作所	(2人・10月・154日)
	68	(有) 加藤商店	(1人・6月・34日)
	328	(有) ちなみ鍍金工業所	(1人・8月・164日)
	42	(有) イワタ	(1人・3月・21日)
	796	はあぶ工房	(2人・23月・398日)

3. 精神保健医療対策事業

(1) 通院医療費公費負担事務

(審査月別申請件数)

	合計	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
平成15年度	1,150	116	145	78	79	97	100	93	37	137	74	61	133
平成16年度	1,138	101	91	104	82	56	94	90	68	134	136	98	84
平成17年度	2,988	124	90	131	96	133	100	123	86	94	79	118	1,814

(年度末人員数)

市町名	平成14年度	平成15年度	平成16年度	平成17年度
桑名市	768	903	1,343	1,504
(多度町)	62	53		
(長島町)	118	132		
木曾岬町	53	61	67	72
いなべ市		353	414	438
(北勢町)	105			
(員弁町)	52			
(大安町)	106			
(藤原町)	58			
東員町	128	182	232	238
合計	1,318	1,701	2,056	2,252

(2) 精神保健措置事業

区分 年度	申請・通報件数					指定医診察結果		保護申請に基づく調査により		
	計	法23条	24条	25条	法26条の2	法29条該当	29条非該当	他の福祉施設	指定医診察不要	その他
平成15年度	6	-	6	-	-	4	2	-	-	-
平成16年度	4	-	4	-	-	3	1	-	-	-
平成17年度	3	-	3	-	-	-	2	-	1	-

(3) 疾患別措置入院者の状況

(H18年3月31日現在)

疾患別 市町別	総 数	統合 失調 症	そ う う つ 病	心 因 反 応	非 精 神 病 型	て ん か ん	知 的 障 害	神 経 衰 弱	ア ル コ ー ル	性 精 神 病	そ の 他
総計	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

15. 母子保健関連事業

1. 母子保健対策事業

(1) 未熟児訪問事業

母子保健法では、出生体重が2500g未満の乳児を低体重児としており、未熟児は生理的に未熟であり、疾病にもかかりやすいことから、同法第19条により訪問指導を行い、必要な処置を行った。

	管内計	桑名市			いなべ市				木曾岬町	東員町	
		桑名市	多度町	長島町	北勢町	員弁町	大安町	藤原町			
平成14年度	総数	174	93	6	14	14	5	13	4	3	22
	要訪問児(A)	35	19	1	-	2	2	4	-	-	7
	(A)%	20.1	20.4	16.6	-	14.3	40.0	30.8	-	-	31.8
	訪問実施件数(B)	40	26	-	3	-	3	2	-	-	6
	(B)%	23.0	28.0	-	21.4	-	60.0	15.4	-	-	27.3
平成15年度	総数	164	101	9	12	8	4	11	2	4	13
	要訪問児(A)	30	13	-	-	4	-	5	-	1	7
	(A)%	18.3	12.9	-	-	50	-	45.5	-	25	53.8
	訪問実施件数(B)	47	34	-	-	2	2	3	-	-	5
	(B)%	28.7	33.7	-	-	25	50	27.3	-	-	38.5
平成16年度	総数	151	66	9	18	37				4	17
	要訪問児(A)	30	11	3	5	6				1	4
	(A)%	19.9	16.7	33.3	27.8	16.2				25.0	23.5
	訪問実施件数(B)	38	16	4	4	9				3	2
	(B)%	25.2	24.2	44.4	22.2	24.3				75.0	11.8
平成17年度	総数	170	108			47				1	14
	要訪問児(A)	38	25			9				0	4
	(A)%	22.4	23.1			19.1				-	28.6
	訪問実施件数(B)	46	27			14				0	5
	(B)%	27.1	25.0			29.8				-	35.7

注：要訪問児 出生時体重が2000g以下の児
 ()について A・Bは総数に対する比率
 訪問実施件数は、実件数。

(2) 健やか親子支援事業

事業の目的

心身の発達に問題を抱える子ども及び養育問題を持つ保護者とその子どもに対して、必要とする支援内容を明確化にし、状況に応じた適切な助言・指導を行い、養育問題の負担軽減を図る。また関係機関との調整を図ることにより、地域で安心して生活できるよう支援した。

実施内容

(ア) 面接相談

小児慢性特定疾患等の医療費給付申請時に面接を行い、家族の抱える問題点の把握を行った。相談は長期療養児・手術が必要な児の保護者からが多く、特に小児慢性特定疾患・育成医療等の医療費の補助に関する内容のものが多かった。

(イ) 家庭訪問

従来から行っている未熟児訪問については、管内市町や医療機関等の関係機関と連携しながら行った。

継続的な個別フォローが必要であるケースへの支援については、児の発育・発達に問題のある場合のみならず、母親への育児支援が重要であり、母親が地域で孤立しないよう、必要な時に必要なところへ相談できるような支援を行った。

	妊産婦	乳児	幼児	未熟児	その他
実件数	39	2	9	46	1
延件数	40	2	10	46	1

(ウ) 研修会・関係機関連絡会議

養育に問題を持つ保護者からの相談への対応、関係機関との連携が一層必要とされてきている。そこで、虐待予防のための知識の普及啓発及び人材育成を目的に子どもに関わる関係者を対象とした研修会を開催した。

日時	場所	対象	講師・内容
18年 3月13日	いなべ市 大安庁舎	母子保健推進員 等関係職員	参加者：33人 講師：CAPNA理事 隈元真理子氏 テーマ：子育てを支援するために ～虐待予防とネットワーク～

また、虐待予防ケアとしては、市町の虐待防止ネットワーク会議への委員として参加（年間11回）。講演会・体験学習を通し理解を深めたり、事例を通して今後の対応を検討するなど、関係機関との連携に努めた。

母子保健体制の整備としては、桑名・員弁地区の乳幼児健診委員会への参加（年間8回）。関係機関の情報交換等を行った。

考察及び課題

虐待のハイリスク要因と言われる育児不安の問題が深刻化している中、特に母子保健分野ではハイリスクケースの支援を通して虐待予防の発生に寄与することが求められている。各制度の申請時に、療養上の不安を訴える家族も少なくはない。今後において、申請時面接を充実させ育児不安の軽減を図ることが益々必要である。また活動の充実には市町及び関係機関との連携が不可欠であるため、連携を密に予防的支援に努めたり、支援者がよりよい支援を行うための研修会の機会を持つことも必要である。

2. 母子医療対策事業

(1) 育成医療

身体障害児にとっては、早期発見・早期治療はきわめて重要である。このため、児童福祉法第20条により、18歳未満の児童で、このまま放置すれば将来日常生活にかなりの支障を残すと見られる障害を有しているが、手術をすることで確実な治療効果の期待できるものに対し、医療給付を行った。

	総計	肢体不自由	視覚障害	聴覚・平衡障害	機能障害	音声言語障害	機能障害	先天性心臓障害	腎臓障害	その他の障害の内
平成14年度	120	13	12	3	37	22	1	32		
平成15年度	121	16	16	7	28	20	2	32		
平成16年度	151	24	26	2	35	24	2	38		
平成17年度	184	21	32	6	54	19	9	43		

平成17年度内訳

桑名市	121	13	22	2	26	16	5	37
いなべ市	28	5	4	4	9	3	-	3
木曾岬町	4	1	1	-	-	-	-	2
東員町	31	2	5	-	19	-	4	1

(2) 養育医療

母子保健法第20条により、身体の発育が未熟のまま出生し、正常児が出生時に有する諸機能を得るに至っていないため、入院養育が必要と認められる1歳未満の乳児に対し、医療給付を行った。

	総計	桑名市			いなべ市	木曾岬町	東員町
		桑名市	多度町	長島町			
平成13年度	54	35	2	2	9	2	4
平成14年度	36	18	-	2	8	-	8
平成15年度	37	19	-	-	8	2	8
平成16年度	30	17	1	2	4	1	5
平成17年度	45	32			8	0	5

(3) 小児慢性特定疾患治療研究事業

小児慢性疾患のうち特定疾患については、治療が長期にわたるため、医療費の負担が高額となる。これを放置することは、児童の健全な育成を阻害することとなるため、小児慢性特定疾患の治療研究事業を行い、もってその研究を推進し、その医療の確立と普及を図り、併せて患者家庭の医療費の負担軽減を図った。

市 町 別 疾 患 別		総 計	桑名市			いなべ市	木曾岬町	東員町
			桑名市	多度町	長島町			
平成14年度		174	94	6	13	36	6	19
平成15年度		194	113	7	13	36	5	20
平成16年度		199	137	1	2	33	5	21
平成17年度		182	128			29	2	23
17年度内訳	悪性新生物	31	18			5	1	7
	慢性腎疾患	13	8			5	-	-
	慢性呼吸器疾患	1	1			-	-	-
	慢性心疾患	8	8			-	-	-
	内分泌疾患	98	70			15	-	13
	膠原病	4	2			-	1	1
	糖尿病	7	5			1	-	1
	先天性代謝異常	4	3			1	-	-
	血友病等血液疾患	6	5			1	-	-
	神経・筋疾患	1	1			-	-	-
	慢性消化器疾患	9	7			1	-	1

(4) 特定不妊治療費助成事業

不妊治療のうち、体外受精及び顕微受精（以下「特定不妊治療」という）については、1回の治療費が高額であり、経済的負担が重いことから、十分な治療が受けられず、望んでいるにも関わらず子どもに恵まれない方も少なくない。このことにより、平成16年度から特定不妊治療に要する費用の一部を助成し、経済的負担の軽減を図った。

	総 計	桑名市	いなべ市	木曾岬町	東員町
平成16年度	41	27	9	2	3
平成17年度	46	33	5	0	8

16. 結核予防

結核が個人的にも社会的にも健康被害を及ぼすことのないよう、結核患者に対する適正な医療を普及し、確実な治療への支援に努めるとともに、地域の実情に応じた結核対策を講じ、結核予防の推進を図った。

1. 管内結核登録患者の状況

結核患者の登録は結核対策の重要な施策の一つで、活動性分類、受療状況を調査し、患者の管理と生活指導に努めた。

(1) 新登録患者数(活動性分類、性別、年齢階級別)

平成 17 年 1 月 1 日～平成 17 年 12 月 31 日

病型別 年齢区分	計			活動性結核									(別掲) 初感染 結核			(別掲) 非定型 抗酸菌症					
				肺結核活動性						肺外結核											
				喀痰塗抹陽性			その他結核菌陽性												菌陰性・その他		
計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女				
計	47	23	24	15	7	8	5	3	2	13	8	5	14	5	9	-	-	-	6	3	3
0才～4才	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
5才～9才	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
10才～14才	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
15才～19才	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
20才～29才	4	1	3	-	-	-	2	1	1	-	-	-	2	-	2	-	-	-	-	-	-
30才～39才	4	2	2	-	-	-	-	-	-	3	2	1	1	-	1	-	-	-	-	-	-
40才～49才	5	3	2	2	2	-	-	-	-	2	1	1	1	-	1	-	-	-	-	-	-
50才～59才	4	2	2	1	1	-	1	1	-	2	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-
60才～69才	9	5	4	4	1	3	1	1	-	2	1	1	2	2	-	-	-	-	1	-	1
70才以上	21	10	11	8	3	5	1	-	1	4	4	-	8	3	5	-	-	-	5	3	2

(2) 年末現在登録者数(活動性分類、受療状況別)

平成 17 年 12 月 31 日現在

病型別 区分	計			活動性結核					不活動性	不明
				肺結核活動性				肺外結核		
				計	喀痰塗抹陽性	その他結核菌陽性	菌陰性、その他			
計	85	24	12	4	8	8	51	2		
入院中	1	1	1	-	-	-	-	-		
外来治療中	31	23	11	4	8	8	-	-		
治療なし	53	-	-	-	-	-	51	2		
不明	-	-	-	-	-	-	-	-		

(3)市町別結核登録患者の状況

平成17年12月31日現在

病型別 市町別	計	活動性結核				不活動性	不明	人口10万対	
		肺結核活動性			肺外結核			活動性結核の有病率	
		喀痰塗抹陽性	その他結核菌陽性	菌陰性・その他				16年	17年
管内計	85	12	4	8	8	51	2	16.2	14.7
桑名市	49	9	3	6	5	25	1	11.0	16.6
いなべ市	22	2	1	2	3	14	-	17.5	17.2
木曽岬町	2	-	-	-	-	2	-	14.1	-
東員町	12	1	-	-	-	10	1	42.3	3.9

(4)市町別結核新登録患者の状況

平成17年1月1日～平成17年12月31日

病型別 市町別	計	活動性結核				肺外結核	罹患率	(別掲) 初感染結核	(別掲) 非定型抗酸菌症
		肺結核活動性計	肺結核活動性						
			喀痰塗抹陽性	その他結核菌陽性	菌陰性・その他				
管内計	47	33	15	5	13	14	21.5	-	6
桑名市	31	22	10	4	8	9	22.3	-	2
いなべ市	11	7	2	1	4	4	23.7	-	3
木曽岬町	1	1	1	-	-	-	14.4	-	-
東員町	4	3	2	-	1	1	15.4	-	1

2. 結核検診実施状況

対象別	項目	予防接種				胸部エックス線撮影		かくたん 検査者数	結核患者 発見者数
		対象者数	ツ反心 検査者数	陽性者数	B C G 接種者数	対象者数	受診者数		
定期	計	1,919	-	-	1,854	45,937	15,377	5	1
	事業者	-	-	-	-	5,984	5,930	3	1
	学校長	-	-	-	-	1,752	1,751	1	-
	施設の長	-	-	-	-	622	611	1	-
	市町長	1,919	-	-	1,854	37,579	7,085	-	-
定期外	計		4	1	-		212	2	-
	接触者		-	-	-		66	-	-
	患者家族		4	1	-		132	-	-
	患者管理		-	-	-		14	2	-

3. 市町別一般住民結核健康診断実施状況

市町別	項目	住民健診対象者数 (A)	B C G 対象者数 (B)	B C G 接種人員 (C)	(C) / (B) %	胸部エックス線撮影			結核患者 発見数 (G)	(G) / (D) %	
						間接撮影数	直接撮影数	受診人員 (D)			(D) / (A) %
	計	37,579	1,919	1,854	96.6	6,181	904	7,085	18.9	-	-
	桑名市	25,009	1,293	1,250	96.7	2,829	2	2,831	11.3	-	-
	いなべ市	3,196	387	369	95.3	1,290	-	1,290	40.4	-	-
	木曽岬町	5,567	39	39	100	881	485	1,366	24.5	-	-
	東員町	3,807	200	196	98.0	1,181	417	1,598	42.0	-	-

4. 結核診査協議会における結核医療診査状況

(1) 結核予防法第34条申請診査件数

区分	保険別 計	被用者保険		国保	生保	老保	その他
		本人	家族				
申請件数	73	20	7	12	3	30	1
合格件数	71	20	7	11	2	30	1
承認件数	71	20	7	11	2	30	1

(2) 結核予防法第35条申請診査件数

区分	申請別 計	新規申請	継続申請	解除申請
申請件数	31	14	0	17
合格件数	31	14	0	17
承認件数	31	14	0	17

5. 結核診査協議会委員名簿(順不同)

平成17年4月1日現在

氏名	役職名
佐藤 孝之	桑名市民病院 内科部長
笠井 寛司	笠井内科 院長
埜村 智之	いなべ総合病院 副院長
西羽 加代子	人権擁護委員
坂井 温子	桑名保健福祉部 保健衛生室長(桑名保健所長)

6. 結核健康相談開催

定期外健診及び管理健診

毎月第1、3週の木曜日 午後2時30分から午後3時 受付

7. 結核対策特別推進事業

(1) 事業名

医療機関と地域の連携による治療成功者の増加に向けた取り組み(DOTS)

(2) 事業の目的

結核の再発・菌の薬剤耐性化を防止し治療成功をさせるためには、服薬の徹底について指導し、患者の日常生活に結びつけていく必要がある。

院内DOTS実施の協力病院との連携のもと地域DOTSを実施することにより、治療開始から終了まで一貫して服薬支援を行い、治療中断を防ぎ、結核治療を完了できることを目指す。

(3) 実施内容

1) 協力病院(四日市社会保険病院)とDOTSカンファレンスの実施

- ・月1回 定例開催

2) 地域DOTS推進のための基盤づくり

協力病院(四日市社会保険病院)の院内DOTS充実への支援

- ・「院内DOTSマニュアル」作成への協力
- ・「自己管理DOTSへの移行チェックリスト」の検討
- ・「DOTSカンファレンスカード」の検討

地域DOTS普及啓発を目的に下記のパンフレット作成

- ・患者指導用パンフレット
- ・医療機関用(協力要請)DOTS啓発パンフレット
- ・地域支援者用(協力要請)DOTS啓発パンフレット

関係機関連携強化を目的に下記パンフレット類の作成

- ・34条公費負担申請の医師説明用パンフレット
- ・地域DOTS終了報告書様式
- ・服薬支援のためのアセスメントシート

3) 登録患者へ服薬手帳、服薬ポーチを配付し、服薬の徹底を図る

- ・平成17年度新登録患者全員

4) 先進地視察研修

視察先： 東大阪市保健所、中保健センター

(4) 本事業を実施することによる効果

- ・患者・病院スタッフとも共通の目的のもと進めていくことにより、信頼関係の構築ができ、患者支援の充実につながった。
- ・医療機関と保健所の連携強化が図られ、治療患者の菌情報の早期共有が可能になるなど、結核医療事務もスムーズになった。
- ・協力病院以外でも個別のケースをとおして、DOTS事業について協力を求める働きかけをした結果、外来DOTSを実施していただき治療中断なく服薬完了できたケースもあり、一部の事例ではあるが他病院・介護保険等関係機関への波及効果もみられた。

17. 感染症予防

1. 感染症予防

感染症発生時において、患者調査と家族、接触者検診の実施および感染拡大防止のための措置を講じた。また、医療機関からの行政検査依頼に応じた。

(1) 二類・三類感染症発生状況

種別 年度	二類感染症						三類 感染症
	コレラ	細菌性赤痢	腸チフス	パラチフス	急性灰白髄炎	ジフテリア	腸大腸管出血性感染性疾患
平成13年度	1	1	-	-	-	-	4
平成14年度	-	-	-	-	-	-	9
平成15年度	-	1	-	-	-	-	5
平成16年度	-	-	-	-	-	-	26
平成17年度	-	-	-	-	-	-	5

(2) 二類・三類感染症対策検査実施状況

	実検体数	二類				三類
		赤痢	コレラ	腸チフス	パラチフス	腸管出血性大腸菌感染症 (0157等)
医療機関及び検査機関等	3	1	-	-	-	2
海外渡航に係わる検査	1	1	-	-	-	-
家族及び接触者	18 (2)	-	-	-	-	18 (2)
菌陰性化検査	3 (1)	-	-	-	-	3 (1)
その他	-	-	-	-	-	-
計	25 (3)	2	-	-	-	23 (3)

注 ()内は陽性者数を再掲

2. エイズ予防事業

(1) エイズ対策促進事業

1) エイズ講演会：企業従業員に対する正しい知識の普及

実施年月日	参加人数	内 容
平成17年7月6日	三岐通運社員 40人	講演 講師 桑名保健福祉部 保健師
平成17年10月17日	桑名理美容組合 会員 83人	〃
平成17年11月15日	いなべ理美容組合 会員 52人	〃

2) 管内高校生等に対するエイズ教育

実施年月日 場 所	対象者	参加 人数	内 容
平成17年11月2日 いなべ総合学園 高等学校	いなべ総合学園高 等学校3年生 管内中・高等学校 教諭等	320名 8名	講演「患者さんから学んだこと」 講師 名古屋医療センター エイズカウンセラー 菊池 恵美子 氏
平成17年12月12日 桑名高等学校	桑名高等学校 保健委員	6名	保健だより(12月号)で エイズをテーマに作成するため 保健委員から取材を受けるととも に助言をする。 講師 桑名保健福祉部 保健師
平成18年2月22日 桑名高校 衛生看護分校	1年生	40名	エイズパンフレットなどの提供 (高校の先生でエイズ予防教育(性 教育)を実施)
平成18年3月15日 桑名高校 衛生看護分校	2年生	39名	講演「性を考えることは、命を考 えること」 及び、ビデオ、グループワーク 講師 桑名保健福祉部 保健師 桑名高校衛生看護分校 教諭等

(2) 世界エイズデーキャンペーン

1) 桑名駅前キャンペーン

実施年月日	実施場所	実施者	実施内容
平成 17 年 12 月 1 日 7:40~8:20	桑名駅東口 ロータリー 周辺	保健所職員 5 名 桑名市民病院職員 1 名、人権啓発推進本 部 HIV 部会	世界エイズデーポスター 掲示 エイズ啓発物 1000 名配布 (リーフレット、ポケット ティッシュ)

2) 世界エイズデー講演会

実施年月日 場所	対象者	参加人数	内 容
平成 17 年 12 月 11 日 (日)14 時~16 時 くわなメディアライヴ	学校関係者 保護者 一般	119 人	講演「思春期の性をどう育てるか ~ 父母・教師のさすべきことを考 える ~」 講師 一橋大学津田塾大学講師 人間と性教育研究協議会代表幹事 村瀬 幸浩氏

3) 世界エイズデーポスター展示

平成 17 年 11 月 22 日~12 月 12 日 JR 東海桑名駅構内にて、ポスター展示

(3) エイズ採血検査、電話相談者数

	性別	件数	計
エイズ相談	男	53	81
	女	28	
エイズ検査	男	32	50
	女	18	

(4) エイズ相談・採血

毎週火曜日 午後 1 時~午後 2 時 30 分

3. 予防接種

(1) 市町別予防接種実施状況

区分 市町名	定 期						
	二種混合	三種混合	急性灰白髄炎 (ポリオ)	麻しん	風しん	日本脳炎	インフルエンザ
桑名市	892	5,146	2,499	1,243	1,898	1,894	13,071
いなべ市	436	1,506	723	411	591	490	5,398
木曽岬町	59	174	61	44	56	43	531
東員町	161	787	394	164	332	289	2,238
計	1,548	7,613	3,677	1,862	2,877	2,716	21,238

18. 難病対策関係事業

1. 難病在宅ケア事業

1) 事業の目的

難病患者及び家族に対し、医療と日常生活にかかる相談、指導、助言を行うことで疾病や療養などに対する不安の軽減を図り、QOL(生活の質)の向上につなげる。

2) 対策の選定理由

難病は原因不明、予後不良の疾患であり、患者及び家族におよぼす精神的・身体的・経済的負担が大きく、在宅ケアにおいて様々な問題を引き起こしている。在宅難病患者が地域で安心して暮らしていけるよう患者・家族の交流、専門医や関係機関等との連携を図り基盤整備をしていく。

3) 事業の内容

在宅療養支援計画策定・評価事業

在宅難病患者は病気の進行状況により、介護保険や福祉のサービスを変更をしていく必要がある。訪問後はケアマネージャーや訪問看護ステーションなど関係機関と連絡を取り、情報交換を行い支援の方向性を確認していった。

医療相談

患者・家族の療養上の不安・悩みを解消し、当事者同志の交流を図ることで、QOL(生活の質)の向上を目指すことを目的に実施した。

[神経難病疾患医療相談]

実施年月日：平成17年11月24日

対象者：特定疾患受給者（多発性硬化症、重症筋無力症、筋萎縮性側索硬化症、脊髄小脳変性症、多系統萎縮症、パーキンソン病関連疾患）

内容：個別相談
医療相談、リハビリ相談

参加者：患者10名、家族7名、計17名

[消化器系疾患医療相談]

実施年月日：平成17年12月6日

対象者：特定疾患受給者（潰瘍性大腸炎、クローン病）

内容：講演会と質疑応答

参加者（桑名管内のみ）：64名（15名）

[整形外科系疾患医療相談]

実施年月日：平成18年1月13日

対象者：特定疾患受給者（後縦靭帯骨化症、突発性大腿骨頭壊死症、広範性脊柱管狭窄症）

内容：講演会と質疑応答

参加者（桑名管内のみ）：63名（14名）

新規面接の充実

保健師が在席中は新規申請者の面接を行い生活支援・指導をした。特に神経難病患者は初回訪問基準票を用い家庭訪問につなげた。

平成17年度新規申請状況 139件（重症 12件）

家庭訪問の充実

筋萎縮性側索硬化症、脊髄小脳変性症、多系統萎縮症、パーキンソン病関連疾患等の神経難病重症患者を中心に継続訪問を実施した。新規申請者については訪問により早期

に福祉サービスにつなげ患者のQOL（生活の質）の向上を図った。

平成17年度訪問実数 延べ7件

患者交流会

患者同士が集い、交流会を行なうことで、閉じこもりを防ぎ患者の生活拡大を促進しQOLの向上を図るためパーキンソン病関連疾患患者・家族交流会を難病相談支援センターと協働して開催した。

〔パーキンソン病関連疾患患者交流会〕

平成17年	6月21日	茶話会	参加者数	18名
平成17年	10月6日	リハビリ教室	参加者数	16名
平成17年	12月13日	音楽療法	参加者数	10名
平成18年	3月7日	来年度の計画について	参加者数	8名

難病研修会（四日市保健福祉部・鈴鹿保健福祉部と合同開催）

難病の疾患と患者支援について理解を深め、資質の向上をはかることを目的に研修会を開催した。

実施年月日：平成18年 1月31日

対象者：訪問看護ステーション 訪問看護師

内容：神経難病専門医の講義と病棟実習

講師 鈴鹿病院 医師

参加者（桑名管内のみ）：11名（5名）

2. 特定疾患治療研究事業

いわゆる難病のうち特定疾患は治療がきわめて困難であり、長期の療養を要し、かつ、その医療費も高額であるので、これらの患者の自己負担を軽減し、治療の促進を図ることを目的として医療給付を行っている。

疾患別	市 町	総 数	内 訳			
			桑 名 市	いなべ市	木曾岬町	東 員 町
平成17年度		902(118)	570(81)	207(25)	30(-)	95(12)
1 ベーチェット病		25 (8)	14 (6)	10 (1)	-	1 (1)
2 多発性硬化症		23 (6)	12 (1)	6 (4)	-	5 (1)
3 重症筋無力症		18 (1)	10	3 (1)	3	2
4 全身性エリテマトーデス		75 (1)	50 (1)	13	3	9
5 スモン		1 (1)	1 (1)	-	-	-
6 再生不良性貧血		19	13	3	1	2
7 サルコイドーシス		19 (1)	9 (1)	6	-	4
8 筋萎縮性側索硬化症		13 (4)	10 (3)	3 (1)	-	-
9 強皮症、皮膚筋炎又は多発性筋炎		70 (2)	44 (2)	17	2	7
10 特発性血小板減少性紫斑病		27	15	9	2	1
11 結節性動脈周囲炎		5 (1)	5 (1)	-	-	-
12 潰瘍性大腸炎		163 (1)	102 (1)	33	7	21
13 大動脈炎症候群		4	3	-	-	1
14 ビュルガー病		6	3	2	1	-
15 天疱瘡		11	9	2	-	-
16 脊髄小脳変性症		23 (15)	14 (9)	5 (3)	-	4 (3)
17 クローン病		42	32	9	-	1
18 難治性の肝炎のうち劇症肝炎		1 (1)	1 (1)	-	-	-
19 悪性関節リウマチ		12 (5)	8 (5)	3	-	1
20 パーキンソン病関連疾患		135 (36)	91 (28)	30 (6)	3	11 (2)
21 アミロイドーシス		1	1	-	-	-
22 後縦靭帯骨化症		54 (11)	26 (5)	22 (5)	-	6 (1)
23 ハンチントン舞蹈病		1 (1)	1 (1)	-	-	-
24 ウィリス動脈輪閉塞症		13 (1)	10	1	-	2 (1)
25 ウェゲナー肉芽腫症		2	-	1	-	1
26 特発性拡張型(うっ血型)心筋症		23 (2)	12 (2)	8	-	3
27 多系統萎縮症		19 (9)	12 (4)	4 (2)	-	3 (3)
28 表皮水疱症(接合部型及び栄養障害型)		-	-	-	-	-
29 膿疱性乾癬		3	1	1	-	1
30 広範脊柱管狭窄症		6 (1)	3	2 (1)	1	-
31 原発性胆汁性肝硬変		24 (1)	17 (1)	4	2	1
32 重症急性膵炎		-	-	-	-	-
33 特発性大腿骨骨頭壊死症		10	7	1	1	1
34 混合性結合組織病		7	2	2	1	2
35 原発性免疫不全症候群		-	-	-	-	-
36 特発性間質性肺炎		8	7	-	-	1
37 網膜色素変性症		34 (8)	21 (7)	7 (1)	3	3
38 プリオン病		1 (1)	1 (1)	-	-	-
39 原発性肺高血圧症		2	1	-	-	1
40 神経線維腫症		-	-	-	-	-
41 亜急性硬化性全脳炎		-	-	-	-	-
42 バット・キアリ症候群		1	1	-	-	-
43 突発性慢性肺血栓塞栓症		1	1	-	-	-
44 ライツゾーム病(ファブリ 病含む)		-	-	-	-	-
45 副腎白質ジストロフィー		-	-	-	-	-

{ ()の数字は重症者数}

19. 骨髄バンク事業

白血病や再生不良性貧血など血液難病の患者にとって、生への希望である骨髄バンク事業が円滑に実施されるよう骨髄移植に関する正しい知識の普及啓発を行うとともに、ドナー（骨髄提供者希望者）の登録受付を実施した。

なお、平成10年度から、桑名保健所にドナー登録受付窓口を開設している。

- 1) 窓口開設日 : 毎週火曜日 午前9時30分～午前11時00分
- 2) 17年度登録者 : 20名

20. 原子爆弾被爆者援護

1. 被爆者医療

原子爆弾被爆者に対する援護に関する法律に基づき、原子爆弾が投下された際、広島市、長崎市とこれに隣接する区域内にあった者、その他身体に放射能の影響を受けるような事情下にあった者、当時その者の胎児であった者について年2回の定期健康診断を実施し、被爆者の健康管理に努めた。

(1) 原爆被爆者健康診断実施状況

	第1回(17.5.23~5.28)	第2回(16.11.7~11.19)
対象者	70	70
受診者数	44	32

(2) 各種手当支給状況

平成17年度分

医療特別手当	特別手当	小頭症手当	健康管理手当	保健手当	家族介護手当
1	1	-	54	6	-

(3) 被爆者がん検診

平成17年度分

受診種目	胃がん	肺がん	乳がん	子宮がん	多発性骨髄腫	大腸がん
受診者数	6	5	1	4	5	7

21. たばこ対策

たばこ対策について普及啓発を行うとともに、関係者が積極的に取り組んでいけるよう支援を行います。また、地域の実情に応じた受動喫煙防止対策、禁煙支援を実施し、たばこ対策を推進します。

1 啓発活動

1) 「世界禁煙デー」「禁煙週間」の啓発

世界禁煙デー街頭キャンペーンの実施

- ・日時 平成17年5月31日 午前7時40分～8時20分
- ・場所 JR東海桑名駅前ロータリー
- ・内容 ポケットティッシュ、ばんそこう、たばこ対策啓発パンフレット
1,000個 配布

関係機関へ啓発グッズ（ポケットティッシュ）の配布 1,000個

- ・配布先 医師会、管内高校、食品衛生関係者、庁舎来庁者等

2) 妊婦を対象に「ママと赤ちゃんのたばこ」ミニテキストの配布

- ・配布場所 妊娠届出時の市町の窓口
- ・配布数 1,000部 市町と協働実施

3) 「たばこ規制枠組条約の発効」の1年経過時の啓発

- ・啓発グッズ（ポケットティッシュ）の配布 4,000個
- ・対象 禁煙支援医療機関、受動喫煙ゼロのお店、管内薬剤師会等

4) 喫煙マナー等の啓発活動

- ・各種研修会やフェスティバル等の機会を通じてパンフレットにて喫煙マナーを啓発

2 未成年者の喫煙防止対策

小学校・高校の喫煙防止教育への支援

月日・場所	受講者	内容
平成17年 12月8日 深谷小学校	深谷小学校6年生 56名	講義「喫煙予防教育」 講師：桑名保健福祉部担当保健師
平成17年 12月14日 桑名西高等学校	桑名西高等学校 1・2年生 640名 管内高校保健関係職員 5名	講義「Don't be Duped. TOBACCO Kills. ～たばこにしばられない青春のために～」 講師：笠原悌二郎先生

3 受動喫煙防止対策

1) 「受動喫煙ゼロのお店」認証制度の実施

認証店：21ヶ所

三重県食品衛生協会桑名支部と協働のもと、飲食店での受動喫煙防止を促進するため、受動喫煙のない終日禁煙・終日完全分煙の飲食店の認証制度を実施し、桑名保健福祉部ホームページ、パンフレット等により県民に周知。

2) 『「受動喫煙ゼロのお店」のお知らせ』パンフレットの作成と配布

配布数 15,000部

4 禁煙支援

1) 桑名保健福祉部ホームページ、パンフレット等にて禁煙支援医療機関を公表した。

禁煙支援医療機関 30ヶ所

禁煙支援医療機関実態調査の実施(外来日・予約の必要性の有無、患者数等)

2) 市町や企業で禁煙教育・相談事業を実施

月日・場所	参加者	内容
7月 6日 三岐通運会議室	職員 40名	禁煙教育
10月26日 東員病院	職員 47名	禁煙教育 呼気中CO濃度測定
10月16日 桑名市 健康福祉フェスティバル	来場者 113名 (再掲)禁煙個別相談者数 13名	パネル展示 禁煙相談 呼気中CO濃度測定
11月 6日 桑名市多度町 すこやかフェスタ'05	来場者 117名 (再掲)禁煙個別相談者数 17名	パネル展示 禁煙相談 呼気中CO濃度測定

22. こころの健康づくり

1 リスナー養成研修

1) 木曾岬町傾聴者（リスナー）養成研修

目的：身体だけでなくこころも元気なまちづくりを目指して、家庭や地域といった身近な存在の人がよき傾聴者・相談者となるように人材育成を目的に体験学習中心の参加型の研修会を開催した。（リスナー養成事業実施要領に基づき実施）

対象：子育てボランティア、高齢者ボランティア、民生児童委員

主催：木曾岬町社会福祉協議会、桑名保健福祉部

共催：こころの健康センター

< 日時・内容・場所・受講者数 >

日時	内 容	場 所	受講者
第1回 平成17年 9月21日（水） 13:30~16:30	講義「こころと身体の健康づくり」 講師 桑名保健所長 坂井 温子 体験学習「楽しい出会い体験」 ～SK法～ 講師 こころの健康センター 谷出早由美保健師	木曾岬町 福祉セン ター 集会室	18人
第2回 平成17年 10月3日（月） 13:30~16:30	体験学習「人間関係づくり（わかちあい）」 ねらい：人間関係を深めていく体験学習 体験学習「会話を通じこころのケア」 ～人間関係を深めるコミュニケーション リスナーの役割とリスニング体験～ ねらい：より良い（安心できる）人間関係を 深めていく学習 講師 伊藤 まゆみ 保健師	木曾岬町 福祉セン ター 集会室	24人
第3回 平成17年 10月7日（火） 13:30~16:30	講演会 「快眠とは」 講師 北林病院 名誉院長 太田 龍朗 先生	木曾岬町 福祉セン ター 集会室	27人
第4回 平成17年 10月17日（月） 13:30~16:30	体験学習「五感の訓練」（ブライド・ウォキング） ねらい：コミュニケーションの発見、出会い体験 講義および体験学習「自己理解を深める」 ～交流分析から～ 講師 こころの健康センター 谷出早由美	木曾岬町 福祉セン ター 集会室	25人
第5回 平成17年 10月28日（金） 13:30~16:30	体験学習 ロールプレイング 「人間関係のストレスマネジメント」 ～あなたの周りの人の心の不調をどう気づく～ ねらい：個人のストレスを受け止め緩和する 講師 こころの医療センター 榊原規之	東員町役 場西庁舎 2階 会議室	22人

受講者数：受講者実人員28人、延べ受講者数116人、修了者23人

2) 東員町傾聴者(リスナー)養成研修

目的：同上

対象：東員町 母子保健推進委員、民生委員 定員20名程度

回数：5回(4回以上出席者に修了証書発行)

主催：東員町

共催：桑名保健福祉部、こころの健康センター

< 日時・内容・場所・受講者数 >

日時	内容	場所	受講者
第1回 平成17年 10月25日(火) 13:30~15:30	講義「こころと身体の健康づくり」 講師 桑名保健所長 坂井 温子 体験学習「楽しい出会い体験」 ~SK法~ 講師 桑名保健福祉部 若尾 典子	東員町役場 西庁舎2階 201会議室	9人
第2回 平成17年 11月15日(金) 13:30~15:30	体験学習「人間関係づくり(わかちあい)」 「五感の訓練」ブライド・ウォーキング ねらい：人間関係を深めていく学習 講師 こころの健康センター 谷出早由美	東員町役場 西庁舎2階 201会議室	10人
第3回 平成17年 11月15日(火) 13:30~15:30	体験学習 ロールプレイング 「人間関係のストレスマネジメント」 講師 こころの健康センター 村上 洋子	東員町役場 西庁舎2階 201会議室	11人
第4回 平成17年 11月20日(日) 14:00~16:00	健康づくり・医療講演会 「脳内リセットのすすめ」 ~笑いとは涙が人生を変える~ 講師 日本医科大学名誉教授 吉野 槇一 先生	桑名市メディアライブ 多目的ホール	12人
第5回 平成17年 11月29日(火) 13:00~15:30	体験学習「会話を通じこころのケア」 体験学習「会話を通じこころのケア」 ~人間関係を深めるコミュニケーション リスナーの役割とリスニング体験~ ねらい：より良い(安心できる)人間関係を築く 講師 こころの健康センター 谷出 早由美	東員町役場 西庁舎2階 会議室	17人

受講者数：受講者実人員13人、延べ受講者数55人、修了者11名

2 平成17年度 リスナー継続研修会

目的：リスナー修了者を対象にスキルアップのために開催した。

対象：平成16年度に修了したリスナー修了者

主催：桑名保健福祉部

協力：こころの健康センター

< 日時・内容・場所・受講者数 >

日 時	内 容	場 所	受講者
第 1 回 平成 1 7 年 10月21日(金) 13:30~16:30	講義と体験学習 「あなた・私 きく、聞かせていただく体験」 講師 三鈴カウンセリングセンター 代表 伊藤 まゆみ 保健師	桑名庁舎 第1会議室	26人
第 2 回 平成 1 7 年 11月18日(金) 14:00~16:00	講演「うつ病、自殺の予防」 ～ストレス社会にこころの健康を求めて～ 講師 東員病院 医師 三谷 真哉 先生	朝日町福祉 センター	8人
第 3 回 平成 1 8 年 3月17日(金) 14:00~16:30	講義と意見交換 「災害復旧・復興とこころのケア」 講師 三重県災害ボランティアコーディネーター 養成協議会 議長 山本 康史 氏	桑名庁舎 第二会議室	16人

3 平成17年度 リスナー指導者継続研修会

目 的：リスナー養成を担当する指導者を対象にスキルアップのために開催した。

対 象：平成 16 年度に修了したリスナー指導者修了者

主 催：こころの健康センター・桑名保健福祉部

日 時：平成 17 年 11 月 9 日(水)13：30～16：30

場 所：桑名市メディアライブ多目的ホール

内 容：体験学習「ケースメソッド」

講 師：前田 ケイ 先生 ルーテル学院大学大学院 教授

受講者数：県内保健師等 24 名

4 平成17年度 こころの健康づくり研修会

目 的：リスナー養成を担当する指導者を対象にスキルアップのために開催した。

ストレス社会の現代では、人々の疲れは身体だけにとどまらず、精神面にも多大に影響し、精神的疲労(こころの疲れ)で悩む人が増えている。こころの健康問題は、本人や家族はもちろんのこと、職場や地域の皆さんが関心をもって支えあうことが大切である。そこで、こころの健康問題について正しい知識を学び、明るくいいきと生活できる、また、地域で活動できることを目指して下記のとおり研修会を開催した。

対 象：一般住民、ボランティア、リスナー、管内保健・医療・福祉関係者等

主 催：桑名保健福祉部、

< 日時・内容・場所・受講者数 >

日 時	内 容	場 所	受講者
第 1 回 平成 1 7 年 10月 7 日(金) 13:30~16:30	講演「快眠とは」 講師 太田龍朗 先生 北林病院名誉院長 (木曾岬町社会福祉協議会共催)	木曾岬町福 祉センター 集会室	27人

第2回 平成17年 11月20日(日) 14:00~16:00	講演会「脳内リセット」 ~ 笑いと涙が人生を変える ~ 講師 吉野 槇一 先生 日本医科大学名誉教授 (桑名医師会、桑名市共催)	くわなメディアライブ 桑名市多目的ホール	151人
--	--	-------------------------	------

5 こころの健康づくり教育

目的：依頼先のニーズに応じて健康教育を実施し、こころの健康づくりをサポートした。

実施月日	依頼先	内容	対象	対象者数
平成17年 7月6日(水)	管内企業 (産業保健)	講義と体験学習 「健康づくり講習会」	企業職員	40人
平成17年 11月16日(水)	桑名市商工 会議所	こころの健康相談	一般住民	3人

6 平成18年度の方針、実施計画

18年度は、県の方針に準じ職域にメンタルヘルス対策を展開していく。また、管内市町が主体となってリスナー養成を実施していくことになるので、市町支援を行いながら、すでに修了したリスナーへの継続研修を充実させていくとともに、普及啓発事業を実施していく。

具体的には

- 1 職域にむけての働きかけ
- 2 傾聴者(リスナー)継続研修
- 3 こころの健康づくり研修会
- 4 市町村支援
リスナー養成事業の支援
担当者会議の開催

23. 「ヘルシーピープルそういん・21」地域・職域連携推進事業

地域・職域連携による健康づくりネットワーク事業

地域保健と職域保健の連携により、生涯を通じた包括的な健康づくりに取り組むことにより、効果的・効率的な健康なまちづくりの推進を図ることを目的に、平成17年度から取り組む2カ年のモデル事業である。

17年度は、その初年度として、次の事業を行った。

1 ヘルシーピープルそういん・21地域・職域連携推進協議会開催

発足会：平成17年 7月28日(木) 出席者：委員19名

第2回：平成18年 2月20日(月) 出席者：委員21名

2 同協議会プロジェクトチーム会議開催

発足会：平成17年 7月28日(木) 出席者：18名

第2回：平成17年10月17日(月) 出席者：21名

第3回：平成17年11月24日(木) 出席者：20名

第4回：平成17年12月19日(月) 出席者：17名

第5回：平成18年 1月26日(木) 出席者：19名

第6回：平成18年 2月20日(月) 出席者：18名

第7回：平成18年 3月27日(月) 出席者：20名

3 地域・職域連携推進研修会開催

第1回：平成17年 7月28日(木) 参加者：61名

基調講演

「健康なまちづくりと現場主義のネットワーク形成」

講師 日本福祉大学社会福祉学部教授 牧野 忠康氏

地域・職域連携モデル事業報告

報告者愛知県半田保健所保健師 加藤 恵子氏

第2回：平成18年 2月20日(月) 参加者：112名

基調講演

「健康なまちづくりをめざそう！！」

講師 あいち健康の森健康科学総合センター 津下一代氏

桑員地区における地域・職域連携推進事業報告

パネルディスカッション 『健康なまちづくりをめざそう！』

〔コーディネーター〕

日本福祉大学社会福祉学部教授 牧野 忠康氏

24. 保健栄養

少子・高齢化が本格化する中で、県民の健康づくりへの意識が高まる一方、生活環境の著しい変化により多様化した個人のライフスタイルに合わせ、1人ひとりへの適切な対応が必要となっている。

当所では、「6.栄養改善」で述べた集団給食施設指導、食生活改善推進協議会会員・市町村栄養士等の教育・研修事業のほか、次のことを行い、適切な食生活と健康管理の推進並びに健康増進活動を行う地域指導者の育成に努めた。

1 栄養改善指導実施状況

	個別指導延人員		集団指導延人員	
	栄養指導	(再掲) 病態別栄養指導	栄養指導	(再掲) 病態別栄養指導
乳幼児	-	-	-	-
20才未満	-	-	-	-
20才以上	-	-	519	-
計	-	-	519	-

2 栄養士職域ネットワーク研究会

地域の栄養改善、健康づくりに関する総合的な資質の向上と情報交換を図ることを目的に開催。

実施年月日	対象者	参加人数	内 容
平成17年8月3日	管内の栄養管理業務に携わる管理栄養士及び栄養士	36名	講演 高齢者への訪問栄養指導と低栄養アセスメント
平成18年3月23日		19名	講演 病院におけるNSTのあり方、メタボリックシンドローム

地域栄養課題の検討

平成11年度に策定した地域栄養改善活動指針をもとに、地域課題の把握、検討及び評価を行うとともに、栄養士が所属する各職域の紹介やメニューなどをホームページで情報発信した。

- ・検討委員：6名（研究会参加者）
- ・検討会：2回

3 食育推進事業

幼児期から、生涯を通じて健康的な食生活を営める能力を身につけるために、生物を育み、命の大切さを知り、それを適切に食べることを学ぶ「食育」を推進した。

研修会

場 所：桑名庁舎 第二会議室

内 容：講演「正しい食生活を選択できる大人になるために

～保育園・幼稚園でできること、家庭でできること～

講師 スタジオフードアプローチ主宰 神木 千鶴 氏

事例発表「食育モデル園の取り組み～食育はじめての一步～」

発表者 いなべ市石樽保育園 栄養士 土岐 桂子 氏

出席者

所属施設の種類	出席者数(人)	
	管理栄養士・栄養士	その他
児童福祉	3	32
行政	7	-
その他	1	-
計	11	32

25. 薬物乱用防止対策の推進

薬物乱用防止対策の推進として、地域における薬物乱用対策を総合的かつ効果的に推進するため、各関係機関の協力を得て「ダメ。ゼッタイ。普及運動」「麻薬・覚せい剤禍撲滅運動」等の効果的な啓発運動を実施した。

三重県「ダメ。ゼッタイ。」普及運動街頭キャンペーン

- ・日時 : 平成17年7月7日(木)
- ・場所 : JR東海桑名駅前
- ・内容 : 通勤通学時の通行人にパンフレット等啓発物品を配布した。

薬物乱用防止アンケート調査(成人の意識調査)

- ・日時 : 平成18年1月
- ・対象 : 管内在住者(成人) 96名
- ・内容 : 覚せい剤等の薬物・薬害の知識、薬物乱用防止意識を把握し、今後の対策の資料とする。

小学生における啓発(薬物乱用防止教室)

- ・日時 : 平成17年12月から平成18年2月
- ・対象 : 管内6小学校の高学年 236名
- ・内容 : 薬物見本、パワーポイント等により啓発を行った。

26. 献血推進

血液需要の円滑な供給を図るため、広く献血思想の普及、啓発にあたるとともに、献血の組織化及び献血組織の育成に努めた。特に、成分献血について、その必要性をアピールし推進に努めた。

また、高校生に対して献血思想の普及啓発を呼びかけるとともに、献血ボランティアを募集し一緒に献血啓発に取り組んだ。

1. 市町別献血状況

区分	年度	献血量	計	桑名市	いなべ市	桑名郡	
						木曾岬町	員弁郡
献血数 (人)	13		6,278	4,248	1,434	120	476
	14	200ml	868	577	196	15	80
		400ml	3,806	2,599	844	60	303
	15	200ml	35	18	2	-	15
		400ml	3,439	2,281	807	51	300
	16	200ml	1	1	-	-	-
		400ml	3,406	2,366	776	58	206
	17	200ml	1	-	-	-	-
		400ml	3,594	2,545	654	45	350

27. 狂犬病予防

狂犬病予防法及び三重県動物の愛護及び管理に関する条例に基づき、狂犬病発生防止に努めるとともに、関係市町の協力の下に畜犬の収容、放し飼い防止などの飼育指導を行い、畜犬による人畜その他の危害の発生防止に努めた。なお、猫の収容も行った。

1. 畜犬捕獲等業務

年度	畜犬捕獲及び収容頭数	返還頭数	咬傷犬届出件数	猫引取数
平成13年度	383	22	13	244
平成14年度	362	37	13	267
平成15年度	330	28	22	344
平成16年度	290	44	17	290
平成17年度	290	49	16	243

28 介護保険

介護保険運営する保険者（市町）を指導及び支援すると共に、介護保険基盤である指定居宅サービス事業所、指定介護支援事業所、介護保険施設からの指定申請等を審査し、必要に応じて運営等について指導した。

1 介護支援専門員実務研修受講試験申込受付状況

受付期間 平成 17 年 7 月 12 日から 7 月 29 日まで

受付件数	244 件	うち受験資格別	国家資格等により受験（甲）	0 件
			国家資格等により受験（乙）	110 件
			国家資格等により受験（丙）	102 件
			国家試験等により受験（乙と丙）	4 件
			国家資格等にかかわらず受験	28 件

甲は、医師、歯科医師の資格

乙は、薬剤師、保健師、助産師、看護師、准看護師、理学療法士、作業療法士、あん摩マッサージ指圧師、はり師、きゅう師、栄養士（管理栄養士）、義肢装具士、言語聴覚士、歯科衛生士、視能訓練士、柔道整復師の資格

丙は、社会福祉士、介護福祉士、精神保健福祉士の資格

2 現任研修実施状況

介護支援専門員現任研修会

基礎研修課程

実施日時：平成 17 年 11 月 11 日（金）

実施場所：桑名庁舎 第 2 会議室

参加者数 18 人

基礎研修課程 及び専門研修課程（施設）

実施日時：平成 17 年 12 月 14 日（水）

実施場所：桑名商工会議所 第 1・2 会議室

参加人数 25 人

基礎研修課程 及び専門研修課程（居宅）

実施日時：平成 18 年 1 月 13 日（金）

実施場所：桑名市コミュニティプラザ 中会議室

参加者数：99 人

専門研修過程

実施日時：平成 18 年 1 月 27 日（金）

実施場所：桑名市民会館 大会議室

参加者数：86 人

介護認定審査会委員現任研修会
 実施日時：平成18年2月16日（木）
 実施場所：大山田コミュニティプラザ 中会議室
 参加者数：69人

3 要支援・要介護認定状況

（単位：人） 平成18年3月31日現在

保険者	要支援	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	計
桑名市	545	1,493	581	603	532	388	4,142
いなべ市	158	452	192	191	171	152	1,316
木曽岬町	14	38	20	15	24	15	126
東員町	63	219	80	85	66	47	560
管内計	780	2,202	873	894	793	602	6,144
三重県計	10,334	24,112	10,340	9,402	8,644	6,754	69,586

年次推移（管内）

管内	13年3月末	14年3月末	15年3月末	16年3月末	17年3月末	18年3月末
要支援	462	504	724	710	750	780
要介護1	796	1,009	1,398	1,899	2,140	2,202
要介護2	694	812	961	946	937	873
要介護3	498	578	632	716	808	894
要介護4	509	568	640	735	764	793
要介護5	426	484	536	622	655	602
計	3,385	3,955	4,891	5,628	6,054	6,144

年次推移（三重県）

三重県	13年3月末	14年3月末	15年3月末	16年3月末	17年3月末	18年3月末
要支援	4,994	6,509	8,811	9,718	10,474	10,334
要介護1	10,093	12,723	15,691	20,200	22,820	24,112
要介護2	7,508	8,923	10,220	9,877	10,344	10,340
要介護3	5,777	6,404	7,193	8,172	9,042	9,402
要介護4	5,823	6,273	7,157	8,112	8,457	8,644
要介護5	5,058	5,650	6,071	6,862	7,072	6,754
計	39,253	46,482	55,143	62,941	68,209	69,586

4 介護保険審査会の開催状況

区 分	審査請求 件 数	取り下げ 件 数	裁 決 結 果				
			審理中	却 下	認 容	棄 却	
桑名保健福祉部	-	-	-	-	-	-	
三 重 県	9	1	8	-	1	3	4

平成17年度の要介護認定に係る不服申立を集計したものである。

29 高齢者福祉事業

1 老人クラブ活動等事業

高齢者の生き甲斐と健康づくりのための事業

	桑名市	いなべ市	木曽岬町	東員町
老人クラブに対する助成	(168)	(77)	(7)	(14)
老人クラブ連合会の活動促進に対する助成	(1)	(1)	(1)	(1)
老人クラブ連合会が行う健康づくり事業	(5)	-	-	(1)

は、在宅老人福祉事業補助金として、実績があることを表す。
 () 内の数字は助成対象のクラブ数を表す。

平成 1 8 年度以降、保健福祉事務所を經由せず、県地域福祉室が事業費の照会等を行っている。

30. 母子及び寡婦福祉

1. 母子及び寡婦福祉資金の貸付

母子家庭及び寡婦に対し、経済的自立の助成と生活意欲の助長を図り、併せて、扶養している児童の福祉を増進するための資金の貸付を行った。

(単位：件、千円)

資金名	郡 部		桑 名 市		いなべ市		計			
	件数	金 額	件数	金 額	件数	金 額	件数	金 額		
16年度	1	1,770	21	23,545	5	5,301	27	30,616		
17年度			7	7,516	1	75	8	7,591		
母子福祉資金貸付	内 訳	事業開始								
		事業継続								
		修学			4	5,976			4	5,976
		就職支度								
		生活								
		住宅								
		転宅								
		医療介護								
		就学支度			3	1,540	1	75	4	1,615
		結婚								
		修業								
		技能習得								
児童扶養										
16年度	1	400					1	400		
17年度										
寡婦福祉資金貸付	内 訳	事業開始								
		事業継続								
		修学								
		就職支度								
		生活								
		住宅								
		転宅								
		医療介護								
		就学支度								
		結婚								
		修業								
		技能習得								

31. 女性相談

平成 14 年度から婦人相談員を配置して、女性が抱えるいろいろな悩みや心配ごとなどの相談に応じている。平成 17 年度は次のとおり実施した。

1 平成 17 年度相談件数

	来所相談	電話相談	出張・訪問相談	計
新規・再来相談	24	61	9	94
継続相談	17	47	7	71
計	41	108	16	165

2 平成 17 年度相談主訴別受付状況(新規・再来相談)

		来所	電話	出張・訪問	計	
人間関係	夫等	夫等の暴力	12	9	7	28
		酒乱・薬物中毒				
		離婚問題	10	2	2	14
		その他				
	子ども	子どもの暴力				
		養育不能				
		その他				
	親族	親の暴力				
		その他の親族の暴力				
		その他				
	家庭不和	2	33		35	
	その他の者の暴力					
	男女問題					
	その他		15		15	
住居問題						
帰住先なし						
経済関係	生活困窮					
	借金・サラ金					
	求職					
	その他		1		1	
医療関係	病気					
	精神的問題					
	妊娠・出産					
	その他		1		1	
不純異性交遊						
ヒモ・暴力団関係						
5 条違反						
トラフィッキング						
合計	24	61	9	94		

平成 16 年度から主訴の分類を変更した。

3 相談件数の推移

年度	14	15	16	17
相談件数	87	164	143	165

32. 実習生の受け入れ状況

保健・医療・福祉従事者の養成・確保対策の一環として、養成機関との連携のもと、実習生を受け入れた。

1. 実習生受け入れ状況

	所 属 名	実習期間(日)	人員(名)
看護学生	三重県立看護大学看護学部看護学科	8	17
	三重大学医学部看護学科	10	6
医学生	三重大学医学部医学科	4	6
栄養士	名古屋女子大学	5	1
	椋山女学園大学	5	2
	中京女子大学	5	3
	名古屋学芸大学	5	2
ホームヘルパー1級学生	有限会社 優	1	7
	プラス福祉学園	1	7
	合 計	44	51

平成18年版桑名保健福祉事務所年報

(平成17年度実績)

全68ページ

三重県桑名保健福祉事務所

511-8567 桑名市中央町5丁目71番地

電話 0594-24-3621,3626

<http://www.pref.mie.jp/WHOKEN/HP/>

